

平成24年度 学力向上のためのPDCAサイクルづくり支援事業

①中学校2学年 国語 C調査問題

◇問 題

◇正 答

◇解説シート

◇指導シート

長野県教育委員会

平成二十四年度 C 調査問題 中学校二年国語(一)

二年( ) (組) (番 氏名)

正答数

問/7問

(答えは、すべて解答欄とくに書きなさい。)

問一 次の問題に答えなさい。

【一】 田中さんは、担任の先生から、明日の懇談会こんだんに誰が来るのか尋ねられて、次のように答えました。  
□に入る最も適切な言葉を、あとのア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

明日の懇談会には、母が□ます。

- ア いただき    イ ぐざい    ウ まいり    エ いらっしやい

問二 学級会で、総合的な学習の時間に予定されている「外国の人との交流会」について話し合いをしました。司会は吉原さんです。これを読んであとの問いに答えなさい。

吉原(司会) 交流会で何をすればよいですか。意見を述べるときには、理由もあわせて言って下さい。  
西村 私は、何か記念になるものを作って贈るとよいと思います。理由は、帰ってから、それを見ればなつかしく思い出すことができると思うからです。  
木下 私は、記念になるものを贈ることに賛成ですが、作った物をわたすよりも、歌を歌ってみんなの歌声を贈る方がよいと思います。

吉原(司会)

A □

～(話し合いが続く)～

【二】 司会の吉原さんは、木下さんの発言の内容に不足があると感じ、木下さんに□Aのように問いかけました。最初の吉原さんの発言を参考にして、□Aに入るのに最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア プレゼントには、何を作ればよいと思いますか。  
イ 物よりも歌を贈る方がよいと思う理由は何ですか。  
ウ 外国の人と交流する理由は何ですか。  
エ 歓迎の気持ちを表す方法は、プレゼントだけですか。

問三 国語の授業で「中学校でいちばん新鮮に感じたこと」というテーマで文章を書いています。次は、竹下さんが最初に書いた文章【A】と、それを読み返し、③段落を書き直した文章【B】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】

1 私が中学校に入っ**て**いちばん新鮮に感じたことは、「先輩」という言葉です。

2 私が通っていた小学校には、「ふれあいタイム」という時間がありました。低学年と高学年の子が、いっしょに遊ぶ時間です。その時、低学年の子は、高学年の人を「〇〇さん」と名前**で**呼んでいました。

3 中学に入**学**して、私はテニス部に入りました。最初は部の二・三年生の人たちを「〇〇さん」と呼んでいました。でも、二年生の人たちが「〇〇先輩」と呼んでいた**ので**、そう呼ぶことにしました。

【B】

中学に入**学**して、私はテニス部に入りました。部の三年生に、「ふれあいタイム」といっしょだった松本良夫さんがいます。最初私は、「良夫さん」と呼んでいました。でも、二年生の人たちが「松本先輩」と呼ぶのを聞いたとき、なんだか中学生になったんだなという感じがしていな**あ**と思**い**ました。そこで、「先輩」という呼び方**で**なければなら**な**い**い**うわけ**で**はありませんが、思**い**切**っ**て、「松本先輩」と呼ぶことにしました。

【三】 竹下さんは、③段落をどのように書き直していますか。次のア～エの中から、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 部活動で体験した話題を詳しくして、自分の感じたことを具体的に伝えている。
- イ 部活動の様子を箇条書きでまとめ、要点を明確に伝えている。
- ウ 比喩を用いて書きかえ、自分が感じたことを分かりやすく伝えている。
- エ 友達の意見を引用して、自分の考えのよさを論理的に伝えている。

問四 次の文章は、「万葉集」の和歌について述べたものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

(出典 中学校国語2年光村図書出版)

著作権の関係上、掲載できません。

【四】 線部①「こよひ」を現代仮名遣いに直して、全てひらがなで書きなさい。

【五】 線部②「あやかり(あやかる)」の意味として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 影響を受けて彦星のような人に逢うこと
- イ 影響を受けて様々な習い事をする
- ウ 影響を受けて教えをささずかること
- エ 影響を受けて同様の状態になること

問五 図書委員から1のような呼びかけがあり、東山さんは2のような二つの標語を考えました。

1 図書委員からの【呼びかけ文】

読書旬間の標語を募集します!

ぼしゅう  
山川中学校 図書委員会

- ◆ 目的  
図書委員会では、10月29日から11月7日までの10日間、読書旬間を行います。そこで、全校の皆さんに本の魅力を感じてもらえるように、読書旬間の標語を募集します。
- ◆ 応募条件 (①または②を満たすもの)  
① 読書により、心が豊かになることが伝わるもの  
② 読書により、知識が広がることが伝わるもの
- ◆ 文字数の条件  
20字以内で作成すること。
- ◆ 募集期間  
平成24年10月1日から10月12日まで。

2 東山さんが考えた標語

a 読めば読むほど 物知り博士

b 本読むと 胸のおくまで  
ぽっかぽか

【六】 東山さんは最初、左の標語を考えていました。しかし、□の中のよう<sup>1</sup>に考えて2のよう<sup>2</sup>に作り直しました。□の中の文章の□に入る最もふさわしい言葉を、後のア〜ウから選び、記号を書きなさい。

標語 「じっくりたつぷり心に栄養 味わい、ひたろう 本の世界に」

本の魅力を感じてもらうために、「心に栄養」という言葉で、読書で心が豊かになることは表現できたと思うが、□に合っていないので、作り直すことにしよう。

- ア 目的
- イ 応募条件
- ウ 文字数の条件

□

【七】 あなたなら、a、bのどちらの標語を選びますか(どちらを選んでもかまいません)。あなたの考えとその理由を、あとの①〜③にしたがって書きなさい。  
① aとbを比べて書くこと。  
② 【呼びかけ文】の応募条件とa、bの標語の中の言葉を使って書くこと。  
③ 三文で書くこと。

Blank writing area with a solid border and three vertical dashed lines.

(答えは、すべて解答欄とくに書きなさい。)

問一 次の問題に答えなさい。

【一】 田中さんは、担任の先生から、明日の懇談会こんだんに誰が来るのか尋ねられて、次のように答えました。

□に入る最も適切な言葉を、あとのア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

明日の懇談会には、母が□  
ます。

- ア いただき    イ ぐざい    ウ まいり    エ いらっしやい

ウ

問二 学級会で、総合的な学習の時間に予定されている「外国の人との交流会」について話し合いをしました。司会は吉原さんです。これを読んであとの問いに答えなさい。

吉原(司会) 交流会で何をすればよいですか。意見を述べるときには、理由もあわせて言って下さい。

西村 私は、何か記念になるものを作って贈るとよいと思います。理由は、帰ってから、それを見ればなつかしく思い出すことができると思うからです。

木下 私は、記念になるものを贈ることに賛成ですが、作った物をわたすよりも、歌を歌ってみんなの歌声を贈る方がよいと思います。

吉原(司会)

□ A

～(話し合いが続く)～

【二】 司会の吉原さんは、木下さんの発言の内容に不足があると感じ、木下さんに□ A □のように問いかけました。最初の吉原さんの発言を参考にして、□ A □に入るのに最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア プレゼントには、何を作ればよいと思いますか。

イ 物よりも歌を贈る方がよいと思う理由は何ですか。

ウ 外国の人と交流する理由は何ですか。

エ 歓迎の気持ちを表す方法は、プレゼントだけですか。

イ

問三 国語の授業で「中学校でいちばん新鮮に感じたこと」というテーマで文章を書いています。次は、竹下さんが最初に書いた文章【A】と、それを読み返し、③段落を書き直した文章【B】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】

【B】

正答・正答例

1 私が中学校に入っ**て**いちばん新鮮に感じたことは、「先輩」という言葉です。

2 私が通っていた小学校には、「ふれあいタイム」という時間がありました。低学年と高学年の子が、いっしょに遊ぶ時間です。その時、低学年の子は、高学年の人を「〇〇さん」と名前**で**呼んでいました。

3 中学に入**学**して、私はテニス部に入りました。最初は部の二・三年生の人たちを「〇〇さん」と呼んでいました。でも、二年生の人たちが「〇〇先輩」と呼んでいた**ので**、そう呼ぶことにしました。

中学に入**学**して、私はテニス部に入りました。部の三年生に、「ふれあいタイム」といっしょだった松本良夫さんがいます。最初私は、「良夫さん」と呼んでいました。でも、二年生の人たちが「松本先輩」と呼ぶのを聞いたとき、なんだか中学生になったんだなという感じがしてい**な**あと思**い**ました。そこで、「先輩」という呼び方**で**なければ**な**ら**な**い**い**うわけ**で**は**あ**り**ま**せん**が**、思**い**切**っ**て、「松本先輩」と呼ぶことにしました。

【三】 竹下さんは、③段落をどのように書き直していますか。次のア～エの中から、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 部活動で体験した話題を詳しくして、自分の感じたことを具体的に伝えている。
- イ 部活動の様子を箇条書きでまとめ、要点を明確に伝えている。
- ウ 比喩を用いて書きかえ、自分が感じたことを分かりやすく伝えている。
- エ 友達の意見を引用して、自分の考えのよさを論理的に伝えている。

ア

問四 次の文章は、「万葉集」の和歌について述べたものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係上、掲載できません。

(出典 中学校国語2年光村図書出版)

「よひ

【四】 線部①「こよひ」を現代仮名遣いに直して、全てひらがなで書きなさい。

【五】 線部②「あやかり(あやかる)」の意味として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 影響を受けて彦星のような人に逢うこと
- イ 影響を受けて様々な習い事をする
- エ 影響を受けて同様の状態になること
- ウ 影響を受けて教えをさす
- エ 影響を受けて同様の状態になること

エ

問五 図書委員から1のような呼びかけがあり、東山さんは2のような二つの標語を考えました。

1 図書委員からの【呼びかけ文】

読書旬間の標語を募集します！

ぼしゅう  
山川中学校 図書委員会

- ◆ 目的  
図書委員会では、10月29日から11月7日までの10日間、読書旬間を行います。そこで、全校の皆さんに本の魅力を感じてもらえるように、読書旬間の標語を募集します。
- ◆ 応募条件 (①または②を満たすもの)
  - ① 読書により、心が豊かになることが伝わるもの
  - ② 読書により、知識が広がることが伝わるもの
- ◆ 文字数の条件  
20字以内で作成すること。
- ◆ 募集期間  
平成24年10月1日から10月12日まで。

2 東山さんが考えた標語

a 読めば読むほど 物知り博士

b 本読むと 胸のおくまで  
ぽっかぽか

【六】 東山さんは最初、左の標語を考えていました。しかし、□の中のよう<sup>1</sup>に考えて2のよう<sup>2</sup>に作り直しました。□の中の文章の□に入る最もふさわしい言葉を、後のア～ウから選び、記号を書きなさい。

標語 「じっくりたつぷり心に栄養 味わい、ひたろう 本の世界に」

本の魅力を感じてもらうために、「心に栄養」という言葉で、読書で心が豊かになることは表現できたと思うが、□に合っていないので、作り直すことにしよう。

ア 目的 イ 応募条件 ウ 文字数の条件

ウ

【七】 あなたなら、a、bのどちらの標語を選びますか(どちらを選んでもかまいません)。あなたの考えとその理由を、あとの①～③にしたがって書きなさい。

- ① aとbを比べて書くこと。
- ② 【呼びかけ文】の応募条件とa、bの標語の中の言葉を使って書くこと。
- ③ 三文で書くこと。

(例) aの標語は、応募条件の②の「知識が広がる」ということを、「物知り博士」という言葉で表現して、本の魅力を感じるができるようになっていいる。しかし、bの標語には、「心が豊かになること」は書かれているが、「知識が広がること」が書かれていない。だから私はaを選ぶ。

## 中学校 2 年国語【一】解説シート

### ◆ 問題及び正答

明日の懇談会には、  
母が  ます。

ウ ア  
まいり いただき  
エ イ いごい  
いらっしやい

田中さんは、担任の先生から、明日の懇談会に誰が来るのか尋ねられて、次のように答えました。に入る最も適切な言葉を、あとのア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

正答

ウ

### ◆ 出題の趣旨

言語や言語文化に関する知識・技能を身に付け、文や文章の中で適切に用いることができるかどうかをみる。

### ◆ P調査との関連

P調査【一】の類題

### ◆ 学習指導要領との関連

第1学年 話すこと・聞くこと ウ

話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。

小学校第5学年及び第6学年 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (1) イ

(ウ) 日常よく使われる敬語の使い方に慣れること。

### 解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

( 人 % )

1	アと解答しているもの		
2	イと解答しているもの		
3◎	ウと解答しているもの		
4	エと解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

平成 23 年度全国学力・学習状況調査 A 9 三

65.9% (全集計)

66.3% (長野県)

平成 24 年度 P 調査問題【一】 93.0%

## 中学校2年国語【一】指導シート

### 〈誤答分析〉

〈分析〉解答類型より次のようなつまずきが考えられます。

- ・類型1、2→文章の意味を読み取って、状況を判断する力が弱いようです。
- ・類型4 →尊敬語と謙譲語の理解が十分に身に付いていないようです。
- ・類型9、0→設問の意図を読み取れていないことが考えられます。

〈確認〉実際の生活場面に合わせて敬語を使う力が付いていますか。

### ここがポイント



小学校で学んだ敬語の知識を確認し、体系付ける学習を

### 【一】を使った授業改善

◇生活体験や既習内容の中から、どのような場面でどのような言葉を使ったり聞いたりしたのか想起し、実際の生活場面や具体的な場面を想定した文章の中で敬語を使う学習を位置付けましょう。

それぞれの言葉が、どのような場面で使われているのか考えてみよう。

「いただきます」は、相手から何かをもらう時の言い方だな。その他の言葉はどうだろう。

それぞれの言葉の意味を考えながら、実際の場面を想像して、文を作ろう。

自分がすることは謙譲語で、相手がしてくれることは尊敬語になるんだな。

### 日常の授業改善

#### 1年「話すこと・聞くこと」の指導

◇小学校で学んでいる敬語について、既習事項を確認する場面を位置付けましょう。

丁寧な言葉遣いとして習得されている内容を、相手と自分との関係を意識させながら、どのように言えばよいか、具体的な場面を想定して理解することができる場面を設けましょう。

例えば、取材してスピーチで伝える言語活動では、スピーチ原稿を準備する段階で、話題に出てくる人と聞き手との関係を明確にして、どのような言葉遣いをすればよいか確認する、など。

#### 2年「話すこと・聞くこと」の指導

◇尊敬語、謙譲語、丁寧語について、理解することができるような場面を設定しましょう。

小学校から継続して学んでいる「日常よく使われている敬語の使い方」について、実際の生活場面や具体的な文章などを取り上げ、個別的、体験的な知識を整理して、体系付けましょう。

例えば、プレゼンテーションをする言語活動では、友達に発表する場面と、先輩や先生や、知らない大人の人に発表する場面を設定して、どのような言葉遣いによいか考える、など。

#### 3年「話すこと・聞くこと」の指導

◇相手と自分の人間関係や社会関係についての気持ちを表現することに気付かせましょう。

敬語は、相手と自分との人間関係等についての気持ちを表現する役割があることに気付くような場面を仕組みましょう。

例えば、第三者を紹介する言語活動では、話す相手だけでなく、話題に出てくる人に対する言葉遣いにも注意させ、敬語を使うことで気持ちが込められることを確認する、など。

中学校2年国語【二】解説シート

問題及び正答

学級会で、総合的な学習の時間に予定されている「外国の人との交流会」について話し合いをしました。司会は吉原さんです。これを読んだあとの問いに答えなさい。

吉原（司会） 交流会で何をすればよいですか。意見を述べるときには、理由もあわせて言って下さい。

西村 私は、何か記念になる物を用意すればよいと思います。理由は、帰ってからも、それを見ればなつかしく思い出すことができると思うからです。

木下 私は、記念になるものを贈ることに賛成ですが、作ったものをわたすよりも、歌を歌ってみんなの歌声を贈る方がよいと思います。

吉原（司会）  
 ～（話し合いが続く）～  
 A

【二】 司会の吉原さんは、木下さんの発言の内容に不足があると感じ、木下さんに A のように問いかけました。最初の吉原さんの発言を参考にして、 A に入るのに最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア プレゼントには、何を作ればよいと思いますか。  
 イ 物よりも気持ちを贈る方がよいと思う理由は何ですか。  
 ウ 外国の人と交流する理由は何ですか。  
 エ 歓迎の気持ちを表す方法は、プレゼントだけですか。

正答  
イ

◆ 出題の趣旨

話し合いをする際に、話し合いの方向をとらえて、的確に発言することができるかどうかをみる。

◆ P調査との関連

P調査【二】の類題

◆ 学習指導要領との関連

第1学年 話すこと・聞くこと オ

話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

◆ 解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

( 人 % )

1	アを選んでいるもの		
2◎	イを選んでいるもの		
3	ウを選んでいるもの		
4	エを選んでいるもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

平成23年度全校学力・学習状況調査A7二 55.8% (全集計) 59.8% (長野県)

平成24年度P調査問題【二】 72.3%

## 中学校2年国語【二】指導シート

### 〈誤答分析〉

〈分析〉解答類型から次のようなつまずきが考えられます。

- ・類型1 →相手の発言を注意して正しく聞き取ることに課題があるようです。
- ・類型2、4 →話合いの話題や方向をとらえて的確に話す力が弱いようです。
- ・類型9、0 →設問の意図を読み取れていないことが考えられます。

〈確認〉話合いの過程で、出された意見を整理したり、まとめて問い返したりするといった、司会者の役割を理解して話し合うことができますか。

### ここがポイント



話合いが効果的に展開するための進行の仕方を身に付ける学習を

### 【二】を使った授業改善

◇問題文の吉原さんの最初の発言に目を付けて、声に出して読むなど、話合いの学習の素材にしてみましよう。

司会者の吉原さんは、話合いの最初に何と言っているか確認しよう。

「～について意見を出してください」と、「目的をはっきりさせている」「理由を言ってください」と、発言の仕方を示している。

それぞれの発言が、司会者の指示に従っているか、確認しよう。

木下さんの発言は、「反対です」という意見は言えているけど、その理由が出されていないな。

### 日常の授業改善

#### 1年「話すこと・聞くこと」の指導

◇話合いの目的を明確にして、具体的な場面を設定し、実際に話し合う場面を設定しましょう。

「だれが」「何について」「何のために」をはっきりと位置付け、司会者や提案者といった役割を意識しながら「自分の考え」を持ち、比較しながら発言する場面を仕組みましよう。

例えば、バズセッションで話し合う言語活動で、自分の意見をまとめるときに「賛成」「反対」などの立場を明確にして考えるようにし、その立場で発言させる、など。

#### 2年「話すこと・聞くこと」の指導

◇相手の立場や考えを尊重しながら、的確に話したり聞いたりする場面を設定しましょう。

目的や場面に応じて、お互いの発言を検討し、共通点や相違点を聞き分けたり、別の立場や着眼点で考えたりすることを通して、自分の考えを広げることができるようにしましよう。

例えば、パネルディスカッションで話し合う言語活動で、立場によってさまざまな見方ができる話題を取り上げて、提案者や聴衆の役割に応じて、自分の考えと人の考えを比べる場面を設ける、など。

#### 3年「話すこと・聞くこと」の指導

◇話合いの進み具合や経緯を確認して、展開を意識しながら取り組める場を設定しましょう。

話合いの進行について、司会や議長などの立場だけでなく、参加する立場からも話合いが解決に向かうように進め方を提案したり、効率よく進められるように協力したりすることができるような場面を作りましよう。

例えば、学級会で〇〇について提案して話し合う言語活動で、話合いを効果的・効率的に展開させるための工夫を考えた上で、その工夫に応じて事前の準備や提案の順番などに取り組む、など。

中学校2年国語【三】解説シート

◆ 問題及び正答例

国語の授業で「中学校でいちばん新鮮に感じたこと」というテーマで文章を書いています。次は、竹下さんが最初に書いた文章【A】と、それを読み返し、【3】段落を書き直した文章【B】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】

① 私が中学校に入っているいちばん新鮮に感じたことは、「先輩」という言葉です。

② 私が通っていた小学校には、「ふれあいタイム」という時間がありました。低学年と高学年の子が、いっしょに遊ぶ時間です。その時、低学年の子は、高学年の人を「○○さん」と名前で呼んでいました。

③ 中学に入學して、私はテニス部に入りました。最初は部の二・三年生の人たちを「○○さん」と呼んでいました。でも、二年生の人たちが「○○先輩」と呼んでいたのです、そう呼ぶことにしました。

【B】

中学に入學して、私はテニス部に入りました。部の三年生に、「ふれあいタイム」でいっしょだった松本良夫さんがいます。最初私は、「良夫さん」と呼んでいました。でも、二年生の人たちが「松本先輩」と呼ぶのを聞いたとき、なんだか中学生になったんだなという感じがしていいなあと思いました。そこで、「先輩」という呼び方でなければならぬというわけではありませんが、思い切つて、「松本先輩」と呼ぶことにしました。

【三】 竹下さんは、③段落をどのように書き直していますか。次のア～エの中から、最も適切なもの一つを選び、記号で答えなさい。

ア 部活動で体験した話題を詳しくして、自分の感じたことを具体的に伝えている。

イ 部活動の様子を箇条書きでまとめ、要点を明確に伝えている。

ウ 比喻を用いて書きかえ、自分が感じたことを分かりやすく伝えている。

エ 友達の意見を引用して、自分の考えのよさを論理的に伝えている。

正答

ア

◆ 出題の趣旨

文章を書く際に、身近な生活の中から課題を見付け、材料を集め、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

◆ P調査との関連

P調査【三】の類題

◆ 学習指導要領との関連

第1学年 書くこと ア

日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。

◆ 解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

( 人 % )

1◎	アと解答しているもの		
2	イと解答しているもの		
3	ウと解答しているもの		
4	エと解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

平成23年度全国学力・学習状況調査A⑤一 65.0% (全集計) 64.4% (長野県)

平成24年度P調査問題【三】 84.9%

## 中学校2年国語【三】指導シート

### 〈誤答分析〉

〈分析〉解答類型により、次のようなつまずきが考えられます。

- ・類型2 → 箇条書きでまとめることの理解が十分にできていないようです。
- ・類型3 → 比喩を用いることの理解が十分にできていないようです。
- ・類題4 → 引用することの理解が十分に理解できていないようです。
- ・類型9、0 → 設問の意図を読み取れていないことが考えられます。

〈確認〉文章を書く際に、伝えたいことを明確にもち、そのための材料を増やしたり、適切かどうか検討したりする力が付いていますか。

### ここがポイント



伝えたいことを明確にして、自分の考えが的確になる取材をする学習を

### 【三】を使った授業改善

◇【A】の③の文章と【B】の文章を比較することで、自分の考えを的確に伝えるために必要な材料は何かを考えて、身近な生活の中から材料を集めることの大切さを意識させましょう。

【A】の③と【B】とでは、どこがどのように変わっていますか。

「思い出」の内容が増えているな。「二つ目の理由」は、詳しく書かれているな。

推敲した後の文章を読んで、何が良くなったのか考えてみよう。

話題を増やして書くと、公園の様子が詳しく分かって、気持ちが伝わってくるな。

### 日常の授業改善

#### 1年「書くこと」の指導

◇直接体験したことなどを基にして、伝えたいことの課題を決められるように指導しましょう。

体験したことや他教科等で学習したことなどから興味や関心をもったことを基にして、「何について」「だれに向けて」「何のために」書くのかを具体的にする場面を設定しましょう。

例えば、〇〇を説明する文を書く言語活動で、何のために・誰に・何について理解してもらえるためなのかの観点を決め、マッピングしたりカードに書いたりして、身近な体験から情報を集めるようにする、など。

#### 2年「書くこと」の指導

◇人間、社会、文化などに関わる課題を設定し、多様な方法で目的に応じた材料を収集しましょう。

課題設定の対象を「社会生活」に広げて、学校図書館や地域の図書館、公共施設などを利用して資料を収集し、比較、検討しながら自分の考えをまとめる場面を設定しましょう。

例えば、〇〇について説明する文を書く言語活動で、目的と相手を明確に設定した上で、必要な情報をイメージさせ、どのように収集すればいいか考える時間を確保する、など。

#### 3年「書くこと」の指導

◇取材する中で考えを改めたり、自分が伝えたいことを選んだりして書く場面を仕組みましょう。

生徒が取材を繰り返しながら、考えを深めたり、様々な問題の中から課題を設定して、多様な方法で資料を収集したりすることができるような単元展開を工夫しましょう。

例えば、関心のある事柄について批評する文章を書く言語活動では、関心があることについて情報を集め、整理する中で、さらに疑問が生じたり、興味が深まったりしたときの取材の時間を確保する、など。

## 中学校 2 年国語【四】解説シート

### ◆問題及び正答例

次の文章は、「万葉集(まんようしゅう)」の和歌について述べたものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係上、掲載できません。

(出典 中学校国語2年 光村図書出版)

【四】―線部①「こよひ」を現代仮名遣いに直して、全てひらがなで書きなさい。

正答

こよひ

### ◆ 出題の趣旨

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる。

### ◆ P調査との関連

新しく加えた問題

### ◆ 学習指導要領との関連

第2学年 〔伝統的な言語文化と国語の特質〕 (1) ア (ア)

作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと。

### ◆ 解答類型

( 人 % )

1◎	「こよひ」と解答しているもの		
2	現代語訳しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

平成 23 年度 P 調査【四】のたまひしに 45.7%

平成 23 年度 C 調査【四】あはれなり 77.8%

平成 22 年度 P 調査【四】さぬきのみやつことなむいいける 50.7%

平成 22 年度 C 調査【四】やうやうしろくなりゆくやまぎは 38.0%

## 中学校2年国語【四】指導シート

### 〈誤答分析〉

〈分析〉解答類型から次のようなつまずきが考えられます。

- ・ 類型2 → 現代仮名遣いにするのと現代語訳することの区別ができていないことが考えられます。
- ・ 類型9 → 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことが定着していないことが考えられます。

〈確認〉・ 古文を、文意を考えながら区切りを意識して音読していますか。

- ・ 歴史的仮名遣い特有の仮名遣いの読み方の決まりを理解していますか。

ここがポイント



音読、朗読を活用し、文語文を正しく読む能力と古典への関心を

### 【四】を使った授業改善

◇ 現代語訳や語注を手掛かりにして作品の内容を理解したり、描かれている情景や登場人物の心情を想像したりしながら音読する場面を作りましょう。

「こよひ」の他に「ひ」の使われた文語文を音読してみよう。

「ひ」は「い」と読むんだな。例えば「かひなく」は「かいなく」と音読できるね。

### 日常の授業改善に向けて

#### 1年「古典」の指導

◇ 古典に触れ、様々な種類の作品を知ることができるように指導の工夫をしましょう。

- ① 文語のきまり、訓読の仕方について、生徒の興味・関心を大切にしながら、教材に即して指導したり、必要があれば取り立てて指導したりしましょう。古典の文章を繰り返し音読して、五音、七音の繰り返しなどのリズムを味わえるようにしましょう。
- ② 和歌、俳諧、物語、随筆、漢文、漢詩や、能、狂言、歌舞伎、古典落語などの古典芸能などと小学校から親しんできた様々な古典とを結び付け、古典の世界についての新たな興味・関心を喚起させていきましょう。

#### 2年「古典」の指導

◇ 朗読を通し、古典を楽しみ、古典に表れたものの見方や考え方に触れられるように指導の工夫をしましょう。

- ① 強弱や間、速度などを視点に朗読の仕方を工夫したり他の人の朗読を聞いたりすることで、作品について新たな発見をしたり興味・関心を深めたりすることができるような指導の工夫をしましょう。
- ② 「古典に表れたものの見方や考え方」に触れるために古典の易しい現代語訳や古典について解説した文章、関連する本、文章等の紹介、音声や映像メディアの活用など指導の工夫をしましょう。

#### 3年「古典」の指導

◇ 歴史的背景などに注意したり、古典の一節を引用して文章を書いたりする工夫をしましょう。

- ① 古典への興味関心を高めたり、内容の理解を助けたりするために、歴史的背景や作者が当時置かれていた状況等を取り上げましょう。
- ② 古文、漢文に一層親しむ態度を育てるために、古典作品そのものを理解することに加え、古典作品を解説したり、引用したりしている現代文も取り上げてみましょう。

## 中学校 2 年国語【五】解説シート

### ◆ 問題及び正答

<p>エ ウ イ ア</p> <p>影響を受けて同様の状態になること 影響を受けて教えをささずかること 影響を受けて様々な習い事をする事 影響を受けて彦星のような人に逢うこと</p>	<p><b>【五】</b> 線部②「あやかり（あやかる）」の意味として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。</p>	<p style="text-align: center;">著作権の関係上、掲載できません。</p> <p style="text-align: center;">（出典 中学校国語2年 光村図書出版）</p>	<p>次の文章は、「万葉集(まんようしゅう)」の和歌について述べたものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。</p>	<p><b>正答</b></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">エ</p>
---	---	--	---	---

### ◆ 出題の趣旨

文学的文章を読んで、文脈における語句の意味を的確にとらえることができるかどうかをみる。

### ◆ P調査との関連

P調査【四】の類題

### ◆ 学習指導要領との関連

第1学年 読むこと ア

文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解すること。

### ◆ 解答類型

( 人 % )

1	アと解答しているもの		
2	イと解答しているもの		
3	ウと解答しているもの		
4◎	エと解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

平成 24 年度 P 調査【四】 80.0%

平成 23 年度全国学力・学習状況調査 A 4 二 73.5% (全集計) 77.8% (長野県)

## 中学校2年国語【五】指導シート

### 〈誤答分析〉

〈分析〉解答類型から次のようなつまずきが考えられます。

- ・類型1 → 問いの語彙と、登場人物との関連を正しくとらえられていないようです。
- ・類題2、3 → 「あやかる」の意味を文脈に合わせて正しく理解できていないようです。
- ・類型9、0 → 設問の意図を読み取れていないことが考えられます。

〈確認〉一つの叙述や言葉の辞書的な意味を手がかりにするだけでなく、前後の叙述や全体における場面の位置付けなどを関連させて心情などを読み取る力が付いていますか。

### ここがポイント



辞書的な言葉の意味を確認しつつ、文脈でとらえ直す学習を

### 【五】を使った授業改善

◇日常的に辞書を引いて言葉の意味を確認する習慣を付けましょう。そして、その言葉が文章の中でどのように位置付けているのかを話し合う学習をしましょう。

辞書で「あやかる」の意味を調べると、どんな意味が載っているだろう。

「影響を受けて同様の状態になる」という意味があるけど、この場合はどんな様子なのかな。

「同様の状態になること」は、具体的にどういうことかな。

織物が上手な織女のように、裁縫が上達するということを指しているんだな。

### 日常の授業改善に向けて

#### 1年「読むこと」の指導

◇語句の一般的な意味だけでなく、文脈における具体的、個別的な意味をとらえさせましょう。

日頃から辞書を手元に置いて、意味が分からなかったり、判断が難しかったりする言葉があったら、すぐに調べる習慣を付けましょう。そして、その語句の前後との関連を確かめて、心情の移り変わりや表現の効果と関連させながら、意味を考える場面を設けましょう。

例えば、描写に注意して物語を読み取る場面では、登場人物の気持ちを表すために使われている、特徴的な語彙について、辞書だけでなく文脈からも考えるようにする、など。

#### 2年「読むこと」の指導

◇文章の特徴をとらえ、言葉の意味だけでなく、表現の効果も考えて読ませるようにしましょう。

筆者や作者の主張や作品の内容を理解するのに深く関わっている「抽象的な概念を表す語句」や「心情を表す語句」などを取り上げて、辞書的な意味を確認しつつ、文脈に沿って考えたり、自分の体験や読書経験などを生かして理解したりする場面を設けましょう。

例えば、言動や描写の効果を考えながら物語の内容を理解する場面では、作品の特徴から決め出した着眼点を生かして、会話や地の文などから特徴的な叙述を探し、その意味や効果について話し合う、など。

#### 3年「読むこと」の指導

◇語句の使い方が生み出している効果に目を向け、読み取ったことを話し合う場を設けましょう。

書き手の立場や意図、感情などを反映している語句について、その語句がどのように選択されてどう配列されているのか、という表現の工夫に注意して読む場面を設けましょう。

例えば、場面や登場人物の設定をとらえながら物語を読む場面では、主人公の動作や言葉の意味を考えるだけでなく、作品に出てくる他の人物の動作やしぐさを表す語句の使われ方に着目して、その意味を考える、など。

# 中学校 2 年国語【六】【七】解説シート

◆問題及び正答 ※問題は省略、正答は解答類型を参照

◆出題の趣旨 書かれている情報を正確に読み取り、自分の考えを論理的に書けるかどうかをみる。

◆P調査との関連

P調査【五】の類題

◆学習指導要領との関連

第1学年 書くこと ウ

伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを、根拠を明確にして書くこと。

第1学年 読むこと イ

文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。

◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型【六】>

( 人 % )

1◎	ウと解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

<解答類型【七】>

( 人 % )

(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 自分がどちらを選ぶのかを、理由とともに明確に書いている。 ② a と b の標語を比べて書いている。 ③ 【呼びかけ文】の応募条件と a、b の標語の言葉を使って適切に書いている。 ④ 三文で書いている。 (正答例) ◇ a の標語は、応募条件の②にある「知識が広がること」を「物知り博士」という言葉で表して、本の魅力を伝えている。しかし、b には「胸の奥までぼっかぼか」という言葉で本の魅力を表しているが、「知識が広がること」は表現していない。だから私は a を選ぶ。(120字) ◇ b の標語では、応募条件の①の「心が豊かになること」を「胸の奥までぼっかぼか」という言葉で表現している。一方、a の標語では応募条件の②の「知識が広がる」という条件は満たしているが、それよりも応募条件の①の方が本の魅力を伝えることができると思う。だから、私は b を選ぶ。(132字)			
1	・正答の条件①、②、③、④を満たして解答しているもの。なお、次のものも正答とする。 ・正答の条件②について、一方の記号しか用いていないが、a と b の標語を比べて書いていると判断できるもの (例1) ◇ a には「知識が広がる」という応募条件が「物知り博士」と書かれている。そのため a の方が読書旬間の目的がはっきり分かる。私は a を選ぶ。 ◇ b は読書旬間の目的を「胸の奥までぼっかぼか」と表現している。b は「本の魅力を感じてもらえる」という目的を応募条件の「心が豊かになること」を書いて強く印象付けている。私は b を選ぶ。 ・ a と b の言い換えとして a を「上」とし、b を「下」と書いているもの。		
◎			
2	・正答の条件①、②、③を満たし、正答の条件④を満たさないで解答しているもの		
3	・正答の条件①、②、④を満たし、正答の条件③を満たさないで解答しているもの (例) ◇ a は「物知り博士」という言葉が印象的である。b は「ぼっかぼか」という言葉が何を指しているのかははっきりしない。だから a を採用する。(※呼びかけ文の目的や応募条件についての言葉を使っていない)		
4	・正答の条件①、③、④を満たし、正答の条件②を満たさないで解答しているもの (例) ◇ b は、「本の魅力を感じてもらえる」ということが「胸の奥までぼっかぼか」と表現されている。また、「本読むと」でも具体的に表現されていてよい。だから、b を選ぶ。		
5	・正答の条件②、③、④を満たし、正答の条件①を満たさないで解答しているもの (例) ◇ a は「物知り博士」という言葉が印象的である。b は「ぼっかぼか」という表現が目的に合っている。どちらも読書旬間との関連が明確である。(※どちらを採用するかを明確に書いていない)		
9	・上記以外の解答		
0	・無解答		

◎ 解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

平成 24 年度 P調査【五】 37.3%

平成 23 年度 全国学力・学習状況調査 B①三 37.1% (全集計) 33.0% (長野県)

## 中学校2年国語【六】【七】指導シート

### 〈誤答分析〉

〈分析〉 解答類型から次のようなつまずきが考えられます。

- ・【六】 類題9→文章の情報を、目的に応じて正確に読み取ることに課題があるようです。
- ・【七】 類型2→条件に合わせて書くために文と文との関係を整えることに課題があるようです。
- ・【七】 類型3→視点を決めて情報を取り出したり、必要に応じて情報を再構成したりすることに課題があるようです。
- ・【七】 類型4→二つ以上のものを比べ、共通点や相違点から特徴を捉えることに課題があるようです。
- ・【七】 類型5→立場を決めて、根拠や事実の関係に注意して書くことに課題があるようです。

〈確認〉 いくつかの文や文章を比べて読みそれぞれの特徴について述べる力、視点や立場を明らかにして読んだり考えたりする力、選んだ事実とその理由を説明する力は付いていますか。

### ここがポイント



着眼点を明確にして比べて読み、理由を付けて考えを述べる学習を

### 【六】【七】を使った授業改善

◇着眼点を決めて情報を取り出して比べ、自分の考えをまとめる学習を構想しましょう。

「応募条件」が標語のどの言葉と関連しているのか考えて、aとbとではどちらがよいか、自分の考えを述べましょう。

私は、bの標語がよいと思います。「本の魅力を感じてもらえる」という目的のために、応募条件の「心が豊かになること」を「胸の奥までぼっかぼか」という言葉で表現しているからです。それに比べてaでは、「心が豊かになる」という応募条件がはっきりとは表現されていないと思うからです。

「応募条件」を表す言葉がどちらの標語にあるかを考えたら、自分が選んだ標語のよさを説明することができました。今度は、「目的」に注目して呼びかけ文を読み、aとbとではどちらがよいか、自分の考えを三文で書いてみましょう。

### 日常の授業改善

#### 1年「書くこと」に関する指導

◇根拠を明確にして書く学習を設定しましょう。

文章の中の自分の考えや気持ちについての根拠や理由が明確に書かれているかどうか、常に吟味できるように学習場面を設定しましょう。

例えば、絵画作品の鑑賞文を書く場面で、絵画作品から感じ取ったことを事実として付箋にできるだけたくさん書いたあとで、自分が伝えたいテーマに対して具体的な根拠となるものがどれかを選んだり、選んだ付箋を並べ替えたりして、絵画作品の魅力伝えるための根拠を絞り込みながら記述していくような学習場面を設定する、など。

#### 2年「読むこと」に関する指導

◇着眼点を明確にして文章を読み、自分の考えをまとめる学習を設定しましょう。

文章の構成や展開、表現の仕方について分析し、そのように表現をした書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりする学習を大切にしましょう。

例えば、評論文を読む場面で、筆者の着眼の仕方やその順序、論理の展開の仕方、示されている根拠や挙げられている事例、表現の仕方や工夫などの中から、何に注目するかを明確にして読み、筆者の文章の魅力がどこにあるのかについて自分の考えをまとめたり、交流したりするような学習を構想する、など。

平成24年度 学力向上のためのPDCAサイクルづくり支援事業

## ②中学校2学年 数学 C調査問題

◇問 題

◇正 答

◇解説シート

◇指導シート

長野県教育委員会

平成 24 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 ( 1 )

2 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

正答数

問 / 7 問

【 1 】  $12 - 6 \div (-2)$  を計算しなさい。

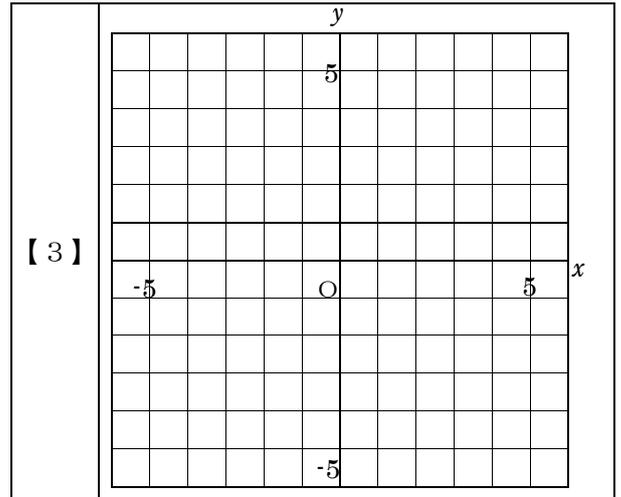
【 1 】

【 2 】 連立方程式  $\begin{cases} 2x - y = 5 \\ x + 2y = 10 \end{cases}$  を解きなさい。

【 2 】

$(x, y) = ( \quad , \quad )$

【 3 】 比例の関係  $y = -\frac{1}{2}x$  のグラフをかきなさい。

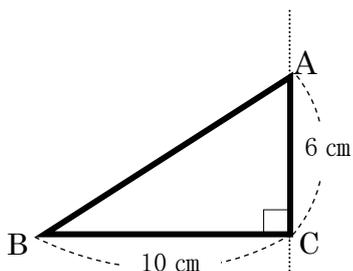


【 4 】 二元一次方程式  $x - y = 2$  の解である  $x, y$  の値の組について、下のア～エの中から正しいものを 1 つ選びなさい。

- ア 解である  $x, y$  の値の組はない。
- イ 解である  $x, y$  の値の組は 1 つだけある。
- ウ 解である  $x, y$  の値の組は 2 つだけある。
- エ 解である  $x, y$  の値の組は無数にある。

【 4 】

【 5 】 下の図のような直角三角形  $ABC$  を、直線  $AC$  を軸として 1 回転させて立体をつくります。できる立体の体積を求めなさい。ただし、円周率は  $\pi$  とします。



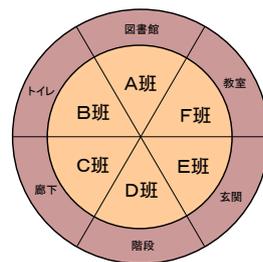
【 5 】

$\text{cm}^3$

平成 24 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 ( 2 )

2 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

【6】 和也さんは、右のように円の中心のまわりの角を等分して学級の当番表をつくるときに、1 班分のおうぎ形の中心角の大きさが何度になるかを調べています。



例えば、6 班に分けると 1 班分の中心角の大きさは  $360^\circ$  を 6 でわって、 $60^\circ$  と求められます。

調べてみると、1 班分のおうぎ形の中心角の大きさについて「分ける班の数を決めると、それにもなると 1 班分のおうぎ形の中心角の大きさがただ 1 つ決まる」という関係があることが分かりました。

下線部を、次のように表すとき、 と  に当てはまる言葉を書きなさい。

【6】	<input style="width: 90%; height: 40px;" type="text" value="①"/>	は	<input style="width: 90%; height: 40px;" type="text" value="②"/>	の関数である。
-----	--	---	--	---------

【7】 はるかさんは、右の表を見て「連続する 3 つの自然数の和は、3 の倍数になる」と予想しました。はるかさんは、その予想がいつでも成り立つことを下のように説明しました。

$1 + 2 + 3 =$	6
$2 + 3 + 4 =$	9
$3 + 4 + 5 =$	12
:	

下の説明を完成させなさい。

【7】	<p>【説明】 連続する 3 つの自然数のうち、最も小さい数を <math>n</math> とすると、連続する 3 つの自然数は、<math>n</math>、<math>n + 1</math>、<math>n + 2</math> と表される。</p> <p>したがって、連続する 3 つの自然数の和は</p> $n + (n + 1) + (n + 2)$ <p>=</p>
-----	---

3 の倍数であることを説明するには、3 と自然数の積になっていることをいえば、いいんだ。



◇学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1 日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。当てはまる番号に○をしましょう。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 3 時間以上           | 2 2 時間以上、3 時間より少ない |
| 3 1 時間以上、2 時間より少ない | 4 30 分以上、1 時間より少ない |
| 5 30 分より少ない        | 6 まったくしない          |

正答・正答例

平成 24 年度 C 調査問題 中学校 2 年数学 ( 1 )

2 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

正答数

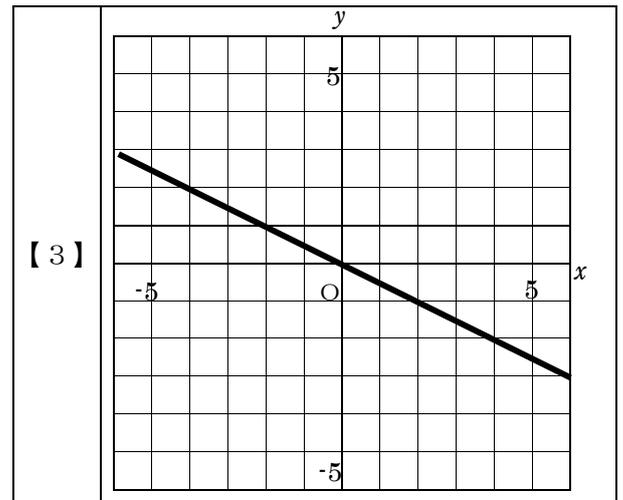
問 / 7 問

【1】  $12 - 6 \div (-2)$  を計算しなさい。

【2】 連立方程式  $\begin{cases} 2x - y = 5 \\ x + 2y = 10 \end{cases}$  を解きなさい。

【3】 比例の関係  $y = -\frac{1}{2}x$  のグラフをかきなさい。

【1】	15
【2】	$(x, y) = (4, 3)$

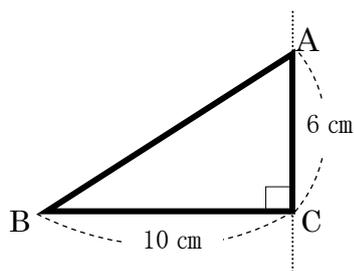


【4】 二元一次方程式  $x - y = 2$  の解である  $x, y$  の値の組について、下のア～エの中から正しいものを 1 つ選びなさい。

- ア 解である  $x, y$  の値の組はない。
- イ 解である  $x, y$  の値の組は 1 つだけある。
- ウ 解である  $x, y$  の値の組は 2 つだけある。
- エ 解である  $x, y$  の値の組は無数にある。

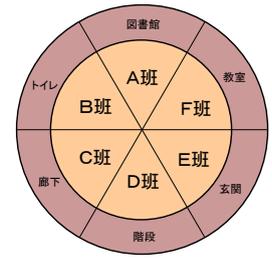
【4】	エ
-----	---

【5】 下の図のような直角三角形 ABC を、直線 AC を軸として 1 回転させて立体をつくります。できる立体の体積を求めなさい。ただし、円周率は  $\pi$  とします。



【5】	$200\pi \text{ cm}^3$
-----	-----------------------

【6】 和也さんは、右のように円の中心のまわりの角を等分して学級の当番表をつくるときに、1 班分のおうぎ形の中心角の大きさが何度になるかを調べています。



例えば、6 班に分けると 1 班分の中心角の大きさは  $360^\circ$  を 6 でわって、 $60^\circ$  と求められます。

調べてみると、1 班分のおうぎ形の中心角の大きさについて「分ける班の数を決めると、それにもなると 1 班分のおうぎ形の中心角の大きさがただ 1 つ決まる」という関係があることが分かりました。

下線部を、次のように表すとき、 と  に当てはまる言葉を書きなさい。

【6】  は  の関数である。

【7】 はるかさんは、右の表を見て「連続する 3 つの自然数の和は、3 の倍数になる」と予想しました。はるかさんは、その予想がいつでも成り立つことを下のように説明しました。

$1 + 2 + 3 = 6$
$2 + 3 + 4 = 9$
$3 + 4 + 5 = 12$
:

下の説明を完成させなさい。

【説明】 連続する 3 つの自然数のうち、最も小さい数を  $n$  とすると、連続する 3 つの自然数は、 $n$ 、 $n + 1$ 、 $n + 2$  と表される。

したがって、連続する 3 つの自然数の和は  $n + (n + 1) + (n + 2)$

$$= 3(n + 1)$$

$n + 1$  は自然数だから、

$3(n + 1)$  は 3 の倍数である。

したがって、連続する 3 つの

自然数の和は、3 の倍数である。

3 の倍数であることを説明するには、3 と自然数の積になっていることをいえば、いいんだ。



◇学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1 日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。当てはまる番号に○をしましょう。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 3 時間以上           | 2 2 時間以上、3 時間より少ない |
| 3 1 時間以上、2 時間より少ない | 4 30 分以上、1 時間より少ない |
| 5 30 分より少ない        | 6 まったくしない          |

## 中学校 2 年数学【1】解説シート

### ◆問題及び正答

【1】  $12 - 6 \div (-2)$  を計算しなさい。

正答 15

### ◆出題の趣旨

正の数と負の数の四則計算ができるかどうかをみるものである。ここでは、数を負の数にまで拡張した場合も、乗除先行に基づき、符号に気を付けて適切に計算することが求められる。

### ◆P調査との関連

P調査【1】  $18 - 12 \div (-3)$  の計算ができるかどうかをみる問題の類題。

### ◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。

イ 小学校で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の意味を理解すること。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

1◎	15 と解答しているもの	人	%
2	9 と解答しているもの		
3	-3 または 3 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

調査結果を記入し、  
気付いたことをメモ  
しておきましょう。



◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

実施年度	P調査		C調査	
	問題	正答率	問題	正答率
24年度	$18 - 12 \div (-3)$	73.4%		
23年度	$25 - 5 \times (-4)$	76.0%	$14 - 8 \div (-2)$	75.0%
22年度	$9 - 3 \times (-2)$	73.7%	$12 - 5 \times (-4)$	76.8%
21年度	$18 - 12 \div (-3)$	72.9%	$12 - 6 \div (-2)$	74.7%

<類題>

平成 19 年度全国学力・学習状況調査

$8 - 5 \times (-6)$

正答率 77.1% (全国)  
81.0% (長野県)

## 中学校2年数学【1】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用して、計算の正しい手順を確認できるようにしましょう。

〈分析〉「 $12 - 6 \div (-2) = 9$ 」と答えている生徒は何人いましたか。

→  $6 \div (-2)$  を先に計算したものの、 $12 - (-3)$  を  $12 - 3$  と計算していると考えられます。

「 $12 - 6 \div (-2) = -3$  または  $3$ 」と答えている生徒は何人いましたか。

→  $12 - 6$  を先に計算していると考えられます。

〈確認〉数を正の数と負の数にまで拡張した場合も計算はできますか。

加減乗除を含む式の計算はできますか。

◇ 「 $12 - 6 \div (-2) = 9$ 」や「 $12 - 6 \div (-2) = -3$ 」等の誤答を生かして、正の数・負の数を  
含む計算の理解を深める場面を仕組みましょう。

「 $12 - 6 \div (-2)$ 」を9や  
-3と計算した人は、どのよ  
うに計算したのだろうか。

加減乗除を含む式の計算を  
するとき気を付けることを  
まとめよう。

「 $12 - 6 \div (-2) = 12 - 3 = 9$ 」と計算した。負の数のわり算  
の符号を間違えた。

「 $12 - 6 \div (-2) = 6 \div (-2) = -3$ 」と計算した。計算の  
順序が間違っている。

計算の順序や符号に気を付けて計算しよう。

途中の式を丁寧に書いて計算しよう。

1年「正の数・負の数」の指導

ここがポイント



途中の式を丁寧に書いたり、その意味を読み取ったりでき  
るようにしましょう。

◇ 等号の意味を意識して式をつないでいくことが、定着していない生徒が多くいると考えられます。

また、計算の順序の決定と符号の処理の両方を同時に行うことで、混乱している場合もあります。

そこで、答えが合っているかどうかだけに  
目を向けるのではなく、途中の式を丁寧に書き、  
操作の目的に照らして、途中の式がその目的  
に合った数値などを表わしているかを読み取

る活動を位置付けましょう。文字式や方程式の学習へのつながりからも、等号の意味を意識した  
活動を位置付けることが大切です。

$$\begin{aligned} & 8 - 5 \times (-6) \\ & = 8 - (-30) \\ & = 8 + 30 \\ & = 38 \end{aligned}$$

乗除先行を示す式

負の符号の処理を示す式

ここがポイント



1、2年「文字式の計算」の指導

文字式の意味を読み取る活動を取り入れましょう。

◇ 単に計算するだけでなく、計算過程を振り返り、文字式の計算がどのようなきまりをもとになさ  
れているかを考えたり、文字式の意味を読みとる活動を取り入れたりする指導を工夫しましょう。

- ① 1年の「正の数・負の数」の学び直しを意識して、教具や教室環境を整えましょう。
- ② 式の値を求める場面で、誤りのある計算例を取り上げて計算方法を確認したり、計算過程を振  
り返り、どんなきまりをもとに計算されているかを説明したりする学習を仕組みましょう。
- ③ 数量の関係を文字式で表現したり、表現された文字式の意味を読み取る活動を取り入れたりと  
して、文字式の計算がどんなきまりをもとになされているかを理解できるようにしましょう。

## 中学校2年数学【2】解説シート

### ◆問題及び正答

【2】 連立方程式  $\begin{cases} 2x - y = 5 \\ x + 2y = 10 \end{cases}$  を解きなさい。

正答  $(x, y) = (4, 3)$

### ◆出題の趣旨

連立方程式が解けるかどうかをみるものである。ここでは、係数をそろえるために一方の式の両辺に適当な数をかけて係数をそろえて加減法を用いたり、一方の式を自分で決めた文字について解き、代入法を用いたりして、一元一次方程式に帰着させて解いていくことが求められる。

### ◆P調査との関連

新規に加えた問題（中学校2年の範囲）

### ◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

- (2) 連立二元一次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。  
ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

1◎	(x, y)=(4, 3)と解答しているもの	人	%
2	(x, y)=(3, 1)と解答しているもの		
3	(x, y)=(8, 1)と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

調査結果を記入し、  
気付いたことをメモ  
しておきましょう。



<過去の調査における正答率>

	問題	正答率
23年度（C調査）	$\begin{cases} x - 2y = 5 \\ 2x + y = 5 \end{cases}$	64.8%
22年度（C調査）	$\begin{cases} 2x - y = 5 \\ x + 2y = 10 \end{cases}$	69.6%
21年度（C調査）	$\begin{cases} x - 2y = 5 \\ 2x + y = 5 \end{cases}$	66.1%

## 中学校2年数学【2】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用して、等式の性質を理解できるようにしましょう。

- 【分析】 $(x, y)=(3, 1)$   $(x, y)=(8, 1)$  と答えている生徒は何人いましたか。  
→係数をそろえるときに、両辺に同じ数をかけていないことが考えられます。
- 【確認】方程式の両辺に同じ数をかけることができますか。  
等式の性質を理解していますか。

◇  $(x, y)=(3, 1)$  や  $(x, y)=(8, 1)$  の誤答を生かして、加減法を用いた連立方程式の解き方の理解を深める場面を仕組みましょう。

「 $(x, y)=(3, 1)$ 」の計算は  
どこが間違っているのだろうか。

$2x - y = 5$  の両辺に2をかけるときに、 $4x - 2y = 5$  とし、右辺に2をかけるのを忘れている。

「 $(x, y)=(8, 1)$ 」の計算は  
どこが間違っているのだろうか。

$x + 2y = 10$  の両辺に2をかけるときに  $2x + 4y = 10$  とし、右辺に2をかけるのを忘れている。

加減法の計算をするときに気をつける  
ことをまとめよう。

式に数をかけるときは、両辺の全ての項にかけ  
るようにしよう。等式の性質を意識しよう。

ここがポイント

2年「連立方程式」の指導



加減法の仕組みを等式の性質を基に深めましょう。

◇ 等式の性質を基に、加減法の仕組みを理解できるようにしましょう。

加減法では、一方の文字を消去するために、2つの二元一次方程式をたしたり、ひいたりしますが、それは、等式の両辺に同じ数をたしても、ひいても等式は成り立つということを根拠としています。

授業の中で、「なぜ、2つの方程式をたしたり、ひいたりしてもよいのだろう」という問いかけをするなどして、等式の性質を活用しているよさを実感させ、加減法の仕組みを理解していけるような展開を心がけましょう。1年で学習した等式の性質を、連立方程式の単元で学び直していくことができます。

ここがポイント

1～3年「方程式」の指導



既習の解き方に帰着させることを意識させましょう。

◇ 方程式の解き方を、それまでに学習した考え方を基にして、生徒が発見していけるような展開を工夫しましょう。

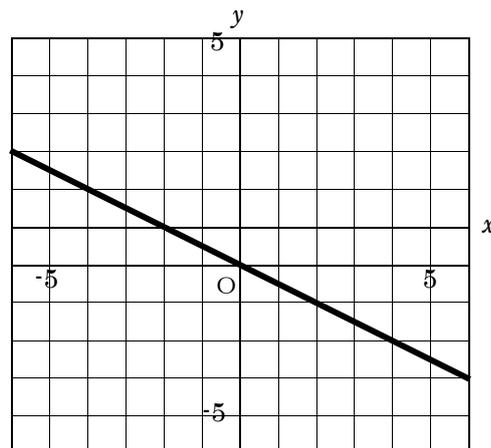
- ① 1年の「方程式」で学んだ等式の性質や、移項などの学び直しを意識して、「連立方程式」「二次方程式」の授業を展開していきましょう。
- ② 「連立方程式」では、文字を消去することで、1年で学んだ一元一次方程式に帰着できることや、消去する際に、等式の性質を利用していることなどを意識させましょう。
- ③ 「二次方程式」では、平方根の考え方に帰着させれば解が求まることを、単元を通して意識させましょう。

## 中学校 2 年数学【3】解説シート

### ◆問題及び正答

【3】比例の関係  $y = -\frac{1}{2}x$  のグラフをかきなさい。

正答 右のグラフのとおり



### ◆出題の趣旨

式を基に、比例の関係をグラフに表すことができるかどうかをみるものである。ここでは、式を満たす  $x, y$  の組が座標に対応すること、比例のグラフの特徴や比例定数の違いによるグラフの形の違いを理解していることが求められる。

### ◆P調査との関連

P調査【2】 式をもとに、比例の関係をグラフに表すことができるかどうかをみる問題の類題。

### ◆学習指導要領との関連

第1学年 C 関数

(1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。

エ 比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

解答	内容	人	%
1◎	$y = -\frac{1}{2}x$ のグラフをかいているもの (フリーハンドも可)		
2	$y = \frac{1}{2}x$ のグラフをかいているもの		
3	$y = -2x$ のグラフをかいているもの		
4	$y = 2x$ のグラフをかいているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

調査	問題	正答率	調査	問題	正答率
H24 P調査	$y = -2x$ のグラフをかきなさい。	56.8%			
H23 P調査	$y = -2x$ のグラフをかきなさい。	55.3%	H23 C調査	$y = -\frac{1}{2}x$ のグラフをかきなさい。	73.2%
H22 P調査	$y = -2x$ のグラフをかきなさい。	54.6%	H22 C調査	$y = -\frac{1}{2}x$ のグラフをかきなさい。	71.6%

## 中学校2年数学【3】指導シート

ここがポイント

**補充・補完指導**



比例定数とグラフの形を関連付けて考察できるようにしましょう。

〈分析〉  $y = \frac{1}{2}x$ ,  $y = -2x$ ,  $y = 2x$  のグラフをかいている生徒は何人いましたか。

→ 比例定数とグラフの形が結びついていないことが考えられます。

〈確認〉 式に当てはまる  $x$ ,  $y$  の値の組を見付けることができますか。

$x$ ,  $y$  の値の組を座標とする点をとることができますか。

→  $x = 2$  のとき、 $y = -1 \rightarrow (2, -1)$ 、 $x = 4$  のとき、 $y = -2 \rightarrow (4, -2) \dots$

◇ 比例定数とグラフの形の組合せを考える活動を通して、比例のグラフの特徴を確認しましょう。

式のどこに着目すれば、グラフの形が分かるか説明しよう。

表をつくって

比例定数の符号、絶対値に着目して

いくつかの点をとれば、グラフがかけるかな。

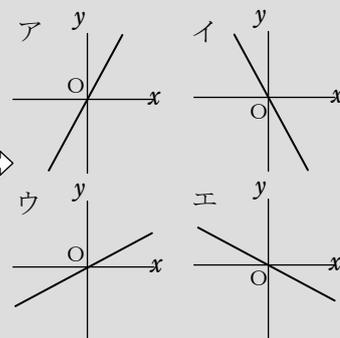
原点ともう1つの点を取り、これらを通る直線をひけばよい。

①  $y = 2x$

②  $y = \frac{1}{2}x$

③  $y = -2x$

④  $y = -\frac{1}{2}x$



**1年「比例と反比例」の指導**

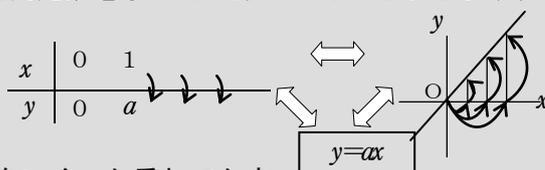
ここがポイント



比例定数に着目してグラフの特徴を見付けていきましょう。

◇ 表、式、グラフを相互に関連付けて、多様な方法で比例定数を求めたり確かめたりしましょう。

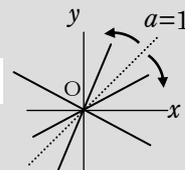
表の縦（対応）の見方から  
グラフから具体的な座標を読み取って  
表やグラフから  $x$ ,  $y$  の値の増加量の割合を求めて



◇ 比例定数  $a = 1$  を基準として、 $a$  の値の異なるグラフをいくつか重ねてかき、 $a$  の値の違いによるグラフの共通点や相違点を考察する学習を仕組みましょう。

どのグラフにも共通していることはなんだろう。 → どれも原点を通る直線になる。

原点を通る直線の位置を変えたとき、 $a$  の値の変化を調べよう。



**2年「一次関数」の指導**

ここがポイント



「変化の割合」の意味の確実な理解を図りましょう。

◇ 3年間の関数の学習を見通して、新しい関数を学習するたびに、比例定数に着目して既習の関数と対比し、表、式、グラフを関連付けて特徴をまとめる学び直しの機会を設けましょう。

例えば、変化の割合について指導する際に、1年で扱った「反比例」を取り上げ、そのグラフが直線にならない理由について説明することを通して、「変化の割合が一定 ⇔ グラフが直線 ⇔ 比例定数  $a$ 」について、より深く理解できるようにしましょう。

比例や一次関数のグラフは直線になるが、反比例のグラフは直線にならない理由を説明しよう。

2年「一次関数」 変化の割合の指導

1年「反比例」  
変化の様子やグラフの形状  
変化の割合が一定でない関数の存在

## 中学校2年数学【4】解説シート

### ◆問題及び正答

【4】 二元一次方程式  $x-y=2$  の解である  $x, y$  の値の組について、下のアからエの中から正しいものを1つ選びなさい。

ア 解である  $x, y$  の値の組はない。

イ 解である  $x, y$  の値の組は1つだけある。

ウ 解である  $x, y$  の値の組は2つだけある。

エ 解である  $x, y$  の値の組は無数にある。

正答      エ

### ◆出題の趣旨

二元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかをみる。

### ◆P調査との関連

P調査【2】 一元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかをみる問題の類題。

### ◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

(2) 連立二元一次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。

ア 二元一次方程式とその解の意味を理解すること。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

1	ア と解答しているもの	人	%
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4◎	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

二元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかをみる問題。

	正答率
23年度 (C調査)	61.2%
20年度 (全国学力)	59.1%

一元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかをみる問題。

	正答率
24年度 (P調査)	58.9%
23年度 (P調査)	61.2%

## 中学校2年数学【4】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

〈分析〉選択肢「エ」以外を選択している生徒は何人いましたか。

→二元一次方程式の解が、その方程式を成り立たせる  $x, y$  の組であることの理解ができていない生徒がいると考えられます。

〈確認〉二元一次方程式の解の組を複数挙げることができますか。

◇二元一次方程式の解が等式を成り立たせる数の組であることや、解が無数にあることを理解できるように活動を位置付けましょう。

二元一次方程式にいろいろな数を代入してみましょう。

$x-y=2$  の左辺の  $x, y$  にいろいろな数を代入すると、右辺の2に等しくなる場合と異なる場合がある。

$x-y=2$  が成り立つ  $x$  と  $y$  の組合せを求めましょう。

$x-y=2$  となる  $x, y$  の組合せは、(3, 1)、(2, 0)、(1, -1)…などがある。

$x-y=2$  が成り立つ  $x$  と  $y$  の組合せはいくつあるでしょう。

$x-y=2$  となる  $x, y$  の組合せは、小数の組合せなども考えれば無数にあることがわかった。

2年「一次関数」の指導

ここがポイント



一次関数のグラフの学習の中で、二元一次方程式の解の意味の学び直しをしましょう。

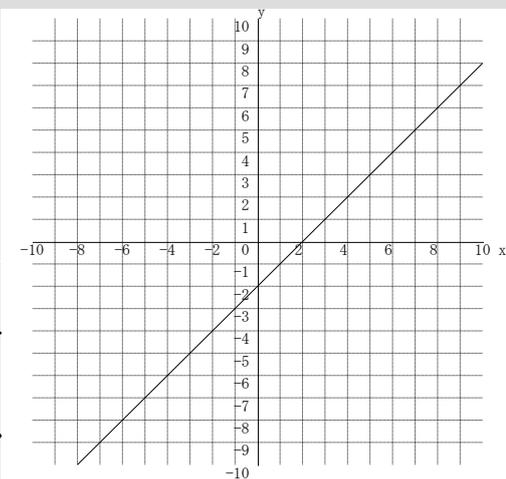
◇一次関数のグラフの学習の中で、二元一次方程式の解が無数にあることを確かめましょう。

例えば、 $x-y=2$  を一次関数の式  $y=x-2$  と見て、直線のグラフとして表すことで、その直線が通る格子点だけではなく、その直線上にあるすべての点が解であることを確かめる活動を取り入れることが考えられます。

$x-y=2$  の解を座標とする点を方眼にとりましょう。

とった点は、どのように並んでいますか。

一次関数  $y=x-2$  のグラフと比べて、どんなことが言えますか。



3年「二次方程式」の指導

ここがポイント



形式的な処理の習熟だけでなく、方程式やその解の意味、解く手続きの意味について、様々な場面で理解を深めましょう。

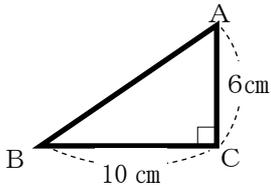
◇二次方程式の解の意味を、平方根の考え方をもとに意識させていきましょう。

二次方程式の解き方を学ぶ学習では、 $x^2=k$ 、 $(x+a)^2=b$ 、 $x^2+ax+b=0$  など、いろいろなタイプの二次方程式の解き方を考えていきますが、因数分解による解き方を除き、式変形は  $( )^2 = k$  の形に帰着させていることを生徒に意識させ、「2乗して  $k$  となるもとの2数は  $\pm\sqrt{k}$  である」という平方根の考え方を基にしていることの意味を深めていくことも大切です。

## 中学校2年数学【5】指導シート

### ◆問題及び正答

【5】下の図のような直角三角形ABCを、直線ACを軸として1回転させて立体をつくります。できる立体の体積を求めなさい。ただし、円周率は $\pi$ とします。



正答 200 $\pi$  cm<sup>3</sup>

### ◆出題の趣旨

直角三角形の一边を軸とする回転によって円錐が構成されることを理解しているかどうかをみるものである。ここでは、回転の軸に対応して底辺と高さを見だし、体積を計算できることが求められる。

### ◆P調査との関連

P調査【4】直線ACを軸として回転した場合の回転体の体積を求める問題。

### ◆学習指導要領との関連

第1学年 B 図形

(2) 観察、操作や実験などの活動を通して、空間図形についての理解を深めるとともに、図形の計量についての能力を伸ばす。

イ 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されているものととらえたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を読み取ったりすること。

ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体、錐体及び球の表面積と体積を求めること。

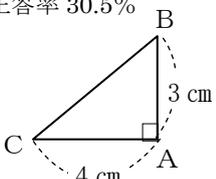
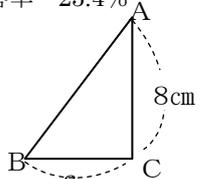
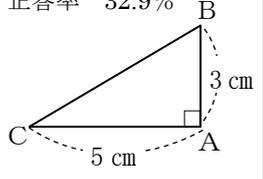
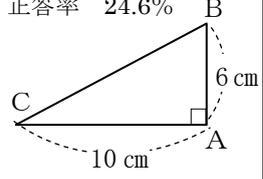
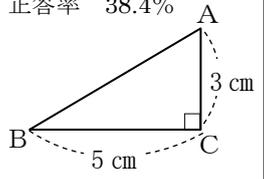
### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

1◎	200 $\pi$ と解答しているもの	人	%
2	200 と解答しているもの		
3	600 $\pi$ ・600 と解答しているもの		
4	120 $\pi$ ・120 と解答しているもの		
5	60 $\pi$ ・60・30 $\pi$ ・30 と解答しているもの		
6	300 $\pi$ ・300 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎ 解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

平成22年度P調査 正答率 30.5% 	平成22年度C調査 正答率 25.4% 	平成23年度P調査 正答率 32.9% 	平成23年度C調査 正答率 24.6% 	平成24年度P調査 正答率 38.4% 
---	---	---	--	---

## 中学校2年数学【5】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

〈分析〉「体積が正しく求められていない」生徒は何人いましたか。

→類型2： $\pi$ を付け忘れていました。類型3： $1/3$ をかけ忘れていました。類型4：円の面積を求める代わりに円周を求めています。類型5： $\triangle ABC$ の面積を求めています。

〈確認〉円柱と円錐の体積の関係は理解できていますか。

◇「体積を正しく求められていない」誤答を生かして、体積の理解を深める場面を仕組みましょう。

ACを軸として1回転するとどんな立体になるか、見取図をかいてみよう。

ACを軸として回転するから、底面は半径BCの円、高さがACの円錐だ。

円錐の体積はどうやって求めればよかったのだろうか。

水を円錐から円柱に移したら3杯入ったぞ。底面と高さが等しい円錐と円柱の体積比は1:3だ。

体積を求めるときに、気を付けたり工夫したりすることをまとめよう。

底面と高さがどこになるかをはっきりさせよう。錐体と柱体の体積の関係を正しく理解しよう。

ここがポイント

1年「空間図形」の指導



実験や実測を通して、実感を伴って理解できるようにしましょう。

◇空間図形の学習では、実験や実測を通して、実感を伴って理解できるようにしましょう。

例えば、水を円錐から円柱に移すとき、予想を立て、実験や実測を通して確かめる活動や、実測から円錐の体積の求め方を説明する活動を取り入れるような指導を工夫しましょう。

円柱の容器には、円錐の容器の何杯分の水が入りそうかな。

はじめは2杯入ると予想していたが、ちょうど3杯入った。見た目ではダメだ。

実測結果から円錐の体積の求め方を、円柱の体積の求め方を基に説明しよう。

2年「式の計算」の指導

ここがポイント



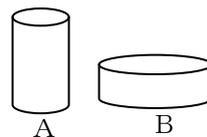
立体の体積を、文字を使って表し対比する学習をしましょう。

◇底面の半径と高さが違う立体の体積を文字を使って表し対比することで、体積の求め方について学び直しの場面を意図した授業をしましょう。

①立体の体積の学び直しの場面を設定して、教具や教室環境を整えましょう。

②底面の半径が $r$ 、高さが $h$ の円柱Aと、円柱Aの底面の半径を2倍にし、高さを半分にした円柱Bでは体積の関係はどうなるかを考える場面で、予想を立て、具体的な数値を用いて体積を求めたり、文字を使って体積が等しくならない理由を説明したりするなど、半径と高さに着目して体積をとらえる活動を取り入れましょう。

③上記の問題の「円柱」を「円錐」に変え、同様に考察し、説明する活動を位置付けることが、理解を深めるために有効です。



底面の半径を2倍にし、高さを半分にしたのに、なぜ体積は等しくならないのかな。

## 中学校2年数学【6】解説シート

### ◆問題及び正答

【6】和也さんは、円の中心のまわりの角を等分して学級の当番表をつくるときに、1班分のおうぎ形の中心角の大きさが何度になるかを調べています。例えば、6班に分けると1班分の中心角の大きさは $360^\circ$ を6でわって、 $60^\circ$ と求められます。

調べてみると、1班分のおうぎ形の中心角の大きさについて「分ける班の数を決めると、それにもなって1班分のおうぎ形の中心角の大きさがただ1つ決まる」という関係があることが分かりました。

下線部を、次のように表すとき、とに当てはまる言葉を書きなさい。

はの関数である。

正答例 ①…1班分のおうぎ形の中心角の大きさ ②…分ける班の数

### ◆出題の趣旨

図形の性質を数量の関係に着目して捉え直し、その特徴を的確に捉え、数学的に表現できることができるかどうかをみる。

### ◆P調査との関連

新規に加えた問題

### ◆学習指導要領との関連

第1学年 C 関数

(1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。

ア 関数関係の意味を理解すること。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

1◎	①に1班分のおうぎ形の中心角の大きさと解答し、②に分ける班の数と解答しているもの	人	%
2○	①に中心角の大きさと解答し、②に班の数と解答しているもの		
3	①に中心角と解答し、②に班(の数)と解答しているもの		
4	①に分ける班の数と解答し、②に1班分のおうぎ形の中心角の大きさと解答しているもの		
5	①に班の数と解答し、②に中心角の大きさと解答しているもの		
6	①に班(の数)と解答し、②に中心角と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

<過去の調査における正答率>

24年度全国学力・学習状況調査 17.4% (全国) 14.6% (長野県)

## 中学校 2 年数学【6】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

〈分析〉「類型 4 : ①に 分ける班の数、②に 1 班分のおうぎ形の中心角の大きさ」と解答した生徒は何人いましたか。

→伴って変わる 2 つの数量関係の①と②を逆に捉えています。

〈確認〉数量の関係を的確に捉え、「…は…の関数である」という形で表現することができますか。

◇「①と②を逆に捉えている」誤答を生かして、関数関係の意味を理解する場面を仕組みましょう。

①に分ける班の数、②に 1 班分のおうぎ形の中心角の大きさ」と答えた解答は、どこが間違っているのだろうか。

分ける班の数を決めると、それにもなって 1 班分のおうぎ形の中心角の大きさがただ 1 つ決まるのだから、1 班分の中心角の大きさが①にくる。

どのようなときに  $y$  は  $x$  の関数であるといえるのだろうか。

ともなって変わる 2 つの変数  $x$ ,  $y$  があって、 $x$  の値を決めるとそれに対応して  $y$  の値がただ 1 つに決まる場合だ。

ここがポイント

1 年「変化と対応」の指導



具体的に事象を考察することを通して理解できるようにしましょう。

◇変化と対応の学習では、関数関係についての内容を一層豊かにし、具体的な事象の中から伴って変わる 2 つの数量を取り出して、その変化や対応の仕方に着目し、関数関係の意味を理解できるようにしましょう。

関数についての学習の初期段階においては、比例と反比例だけが関数であるような誤解に陥らないよう、関数の概念の広がりを実感することができるようにし、関数関係を見だし表現し考察する能力を培いましょう。

正方形の厚紙の四すみから同じ大きさの正方形を切り取り、折り曲げてふたのない箱を作るとき、切り取る 1 辺の長さを変えると、それにもなって、どんな数量が変わりますか。

つくった箱の底面の 1 辺の長さが変わる。だから、箱の底面の 1 辺の長さは、四すみから切り取った正方形の 1 辺の長さの関数だ。

ここがポイント

2・3 年「関数」の指導



関数関係の意味の理解を漸次高める学習をしましょう。

◇第 1 学年では比例、反比例、第 2 学年では一次関数、第 3 学年では関数  $y=ax^2$  を取り扱っています。

いずれにおいても、具体的な事象の中から 2 つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して関数関係を見だし表現し考察する能力を高めていきましょう。

$x$  の値が  $k$  増えるに従い、 $y$  の値が  $ak$  増える関係がある。

$y=2x+8$  のように  $y$  が  $x$  の一次式で表されるとき、 $y$  は  $x$  の一次関数である。

$x$  の値が  $m$  倍になれば、 $y$  の値は  $m^2$  倍となる関係がある。

$x^2$  と  $y$  の値の商が一定であるから、 $y$  は  $x$  の 2 乗に比例する関数である。

## 中学校 2 年 数学【7】 解説シート

### ◆問題及び正答例

【7】 はるかさんは、右の表を見て「連続する 3 つの自然数の和は、3 の倍数になる」と予想しました。はるかさんは、その予想がいつでも成り立つことを下のように説明しました。下の説明を完成させなさい。

$1 + 2 + 3 = 6$
$2 + 3 + 4 = 9$
$3 + 4 + 5 = 12$
⋮

### 正答例

<説明> 連続する 3 つの自然数のうち、最も小さい数を  $n$  とすると、連続する 3 つの自然数は、 $n$ 、 $n + 1$ 、 $n + 2$  と表される。したがって、連続する 3 つの自然数の和は

$$n + (n + 1) + (n + 2)$$

$$= 3(n + 1)$$

$n + 1$  は自然数だから、 $3(n + 1)$  は 3 の倍数である。

したがって、連続する 3 つの自然数の和は、3 の倍数である。

### ◆出題の趣旨

連続する 3 つの自然数の和について、予想された事柄が成り立つ理由を説明する問題である。ここでは、その理由を、示された方針に基づいて説明することが求められる。「連続する 3 つの自然数の和は、3 の倍数になる」ことを、文字式を用いて説明することができるかどうかをみるものである。

### ◆P 調査との関連

新規に加えた問題（中学校 2 年の範囲）

### ◆学習指導要領との関連

第 2 学年 A 数と式

(1) 事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。

イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。

ウ 目的に応じて、簡単な式を変形できること。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型> (①、②、③、④は、右の正答の条件による)

1◎	3(n+1)	①、② の両方を記述しているもの	人	%
2○		①、② のどちらか一方を記述しているもの		
3○		①、② のどちらも記述していないもの		
4		①、② の記述に誤りがあるもの		
5◎	3n+3	③、④の両方を記述しているもの	人	%
6○		③、④のどちらか一方を記述しているもの		
7		③④の記述がなかったり誤りがあつたりするもの		
9	上記以外の解答			
0	無解答			

#### (正答の条件)

<3(n+1) と計算している場合>

次の①、②と同等の内容を記述している。

①  $n+1$  は自然数だから

②  $3(n+1)$  は 3 の倍数である。

<3n+3 と計算している場合>

次の③、④と同等の内容を記述している。

③  $3n$ 、3 が 3 の倍数で、3 の倍数の和は 3 の倍数だから、

④  $3n+3$  は 3 の倍数である。

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

※詳細な解答例は、平成 24 年度 全国学力・学習状況調査「解説資料」p200~201 を参照。

<過去の調査における正答率>

24 年度全国学力・学習状況調査 36.3% (全国) 31.8% (長野県)

## 中学校2年数学【7】指導シート

ここがポイント

### 補充・補完指導



正答しなかった生徒の理解の状況を丁寧に把握しましょう。

〈分析〉結論や根拠が書けていない生徒は何人いましたか。

→ 和が3の倍数になることを、 $3 \times (\text{自然数})$ と結び付けて説明することができていません。

〈確認〉事柄が一般的に成り立つことを説明するために、結論とその根拠を、文字式や言葉を用いて的確に記述することができますか。

◇数の性質が成り立つ理由を説明するために、見通しをもつことを大切にしましょう。

(見通し)

3の倍数であることを説明するためには、式を $3 \times (\text{自然数})$ の形にすればよい。

$$3n+3$$

$$=3(n+1)$$

←これなら、 $3 \times (\text{自然数})$ という形になって、3の倍数であることがよく伝わる。

◇さらに、結論とその根拠を的確に記述することを大切にしましょう。

結論「 $3(n+1)$ は3の倍数である」と表し、その根拠「 $n+1$ は自然数だから」を記述すると、より的確な説明になる。

$n+1$ は自然数だから、 $3(n+1)$ は3の倍数である。

←その式をどのように読むのかが言葉になっていて、より分かりやすい説明になる。

### 2年「文字を用いた式」の指導

ここがポイント



具体数で考えたり、図をかいたりして数量の関係をとらえながら、文字式や言葉で説明するようにしましょう。

◇文字式を用いて事象を説明することは、生徒にとって高いハードルであることを前提に、丁寧な学習を行いましょ。

事象の中に出てくる数量を文字式で表す際には、具体的な数で考えたり、図をかいたりしながら、式の意味を理解できるようにすることが大切です。偶数や奇数を文字式で表す際には、具体数で数の仕組みを理解しながら文字に置き換えるように指導しましょう。

偶数：-2, 0, 2, 4, ...

↓ ↓ ↓ ↓

$2 \times (-1), 2 \times 0, 2 \times 1, 2 \times 2, \dots$

$n$ を整数とすると、 $2 \times n = 2n$

奇数：-1, 1, 3, ...

↓ ↓ ↓

$2 \times (-1) + 1, 2 \times 0 + 1, 2 \times 1 + 1, \dots$

$m$ を整数とすると、 $2 \times m + 1 = 2m + 1$

### 3年「文字を用いた式」の指導

ここがポイント



文字を用いた式でとらえ、説明する活動を充実させましょう。

◇ある命題が成り立つことを説明する場面で、文字を用いて表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったり、計算したりする活動を位置付けましょう。

①文字を用いた式で表す



②目的に応じて変形する



③式の意味を読み取る



④結論付ける

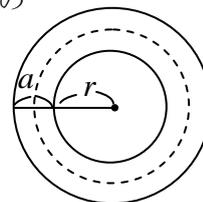
例) 「半径 $r$ の円形の花だんの周りに、右の図のように幅 $a$ の道がついています。この道の面積を $S$ 、道のまん中を通る円周の長さを $l$ とすると、 $S = al$ となる」ことの説明

①  $S = \pi(a+r)^2 - \pi r^2, l = \pi a + 2\pi r$

②  $S = \pi a^2 + 2\pi ar$

③  $al = \pi a^2 + 2\pi ar$  これは $S$ と同じ式、つまり面積を表している。

④ よって、 $S = al$ となる。



平成24年度 学力向上のためのPDCAサイクルづくり支援事業

### ③中学校2学年 英語 C調査問題

◇問 題

◇正 答

◇解説シート

◇指導シート

長野県教育委員会

平成 24 年度 C 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

正答数

問 / 7 問

次の英文を読んで、下の問いに答えなさい。(答えはすべて解答欄に書きなさい。)

<カナダにいる中学生のマイク (Mike) が、ペンフレンドの浩司 (Koji) に半年ぶりに出した手紙です。>

September 4

Dear Koji,

How are you? Are you enjoying your school life now? I know you have summer \*vacation from July to August in Japan. Did you have a good time? What did you enjoy during your summer vacation? I ①( go ) to \*Niagara Falls. It was very beautiful. ②( visit / every summer / many people / there ). I had a wonderful time there.

We start our \*new school year from this month. The school year starts in April in Japan, but in Canada ( ③ ). Do you know that?

Yesterday I \*wrote about my dream in our English class. I want to be a singer. Why? I like to sing English songs very much. Someday I want to sing in many countries. So I'm studying ④( 音楽 ) and English very hard.

What's your dream, Koji? Please tell me about it! I hope you can write me soon.

Your friend,  
*Mike*

[注] vacation : 長期休業      Niagara Falls : ナイアガラの滝      new school year : 新年度  
wrote : 書いた (write の過去形)

- 【1】下線部①の ( ) 内の語を、最も適切な形になおして、1 語で書きなさい。
- 【2】下線部②が意味の通る英文になるように、( ) 内の語を、並べかえて書きなさい。ただし、文の始めにくる語は、最初の文字を大文字になおして書きなさい。
- 【3】手紙の内容から考えて、( ③ ) 内に当てはまる最も適切な文をア～エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

- ア it starts in April.  
イ it starts in September.  
ウ it starts in winter.  
エ it starts in spring.

- 【4】④の ( ) 内の日本語を正しい英語 1 語で書きなさい。

本文の内容について、次の質問に英語で答えなさい。答えは ( ) 内に 1 語ずつ書きなさい。

- 【5】 Did Mike have a good time in Niagara Falls?  
( ) , ( ) ( ) .

- 【6】 What does Mike want to be?  
He ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) .

- 【7】あなたが「将来なりたい職業」や「将来やってみたいこと」を英語で 1 文書き、さらに、そのことについて、あなたの考えや気持ち、事実、理由などを英語で 1 文書き加えなさい。ただし、未習の職業名についてはローマ字表記でもよいとする。

2年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

[解答欄]

【1】	
【2】	( ) .
【3】	
【4】	
【5】	( ) , ( ) ( ) .
【6】	He ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) .
【7】	

## 正答・正答例

2年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

[解答欄]

【1】	went
【2】	( Many people / visit / there / every summer ). または ( Every summer / many people / visit / there ).
【3】	イ
【4】	music
【5】	( Yes ), ( he ) ( did ).
【6】	He ( wants ) ( to ) ( be ) ( a ) ( singer ).
【7】	【例1】 I want to be a baseball player. I like baseball very much.
	【例2】 I want to go to Italy. I want to watch a soccer game there.

※正答の条件は、解説シート参照。

## 中学校 2 年英語【1】解説シート

### ◆問題及び正答

I ①( go ) to Niagara Falls.

【1】 下線部①の ( ) 内の語を、最も適切な形になおして、1 語で書きなさい。

正答 went

### ◆出題の趣旨

時制に応じて動詞を活用できるかどうかをみる問題である。ここでは、前後の文章の時制が過去形であることから判断して、一般動詞（現在）を一般動詞（過去）の形に直すことが求められる。

### ◆P 調査との関連

P 調査【1】の類題

### ◆学習指導要領との関連

2 内容

(3) 言語材料

エ 文法事項 (エ) 動詞の時制など

現在形、過去形、現在進行形、過去進行形、現在完了形及び助動詞などを用いた未来表現

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

1◎	went と解答しているもの	人	%
2	語尾に ed を付け解答しているもの		
3	語尾に s(es)を付け解答しているもの		
4	語尾に ing を付け解答しているもの		
5	Want(など綴りミス)と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

調査結果を記入し、  
気付いたことをメモ  
しておきましょう。



<過去の調査における正答率>

過去の類題	正答率	問題
24 年度 (P 調査)	46.4%	Are you ( <u>enjoy</u> ) your school life now?
23 年度 (C 調査)	48.6%	My mother is ( <u>work</u> ) at a restaurant.
23 年度 (P 調査)	53.4%	He is ( <u>help</u> ) her.
22 年度 (C 調査)	40.9%	He ( <u>want</u> ) to be a professional soccer player in the future.
22 年度 (P 調査)	81.6%	She ( <u>like</u> ) Japan.
21 年度 (C 問題)	13.1%	Now Ken and Taro ( <u>go</u> ) to different high schools.
21 年度 (P 問題)	76.9%	She ( <u>like</u> ) cooking very much.

## 中学校2年英語【1】指導シート

### 補充・補完指導



動詞の語形変化の理解を図り、口頭練習を十分に行いましょう。

- 〈分析〉 解答類型2、3、4のように答えている生徒は何人いましたか。  
→一般動詞（不規則動詞）の過去形の理解が十分でないようです。  
〈確認〉 一般動詞（不規則動詞）の過去形の語形変化を理解していますか。

◇カード、絵、写真などを用い、一般動詞の過去形と現在形を比較させながら、口頭練習を十分に行い、理解・定着させましょう。（一般動詞の過去形を導入した後に）

#### 【口頭練習の例】

①現在形の動詞と過去形の動詞が書かれたカードを順番に見せて口頭練習をしていく。

play → played   watch → watched   go → went   see → saw

②カードの語句を見せて【基本文1】を過去形になおして口頭練習をしていく。

【基本文1】 He  yesterday.   (カード) play baseball / go to Tokyo

③カードの語句を見せて【基本文2】を過去形の文章にして口頭練習していく。

【基本文2】  ①    ②    ③   (カード) ① I You He She  
② play tennis go to Osaka  
③ yesterday last week

↓

She went to Osaka last week.

練習をして気付いたり分かったりしたことをまとめよう。

過去形では、3単現のsは必要ないんだな。  
動詞の過去形には、edをつけるものと形が変わってしまうものがあるな。

### 1年「3人称・単数・現在形」の指導



書くことで確認をさせましょう。

◇口頭練習や音声によるコミュニケーションを図る活動を行った後、主語と動詞に着目して書かせることで定着を図りましょう。

友だちについて分かったことを英語で書きましょう。

My friend, Kohei likes soccer.  
He play it every day.

主語（～は、～が）と動詞（～する）の関係は正しいかな。

He は3人称・単数だから動詞に-sをつける。だから He plays it every day. になる。

### 2年「過去形」の指導



現在形と過去形の用法の違いに気付かせましょう。

◇過去形を指導する際には、習慣を表す現在形と比較しながら、日記文等を書くことを通して、現在形と過去形の用法の違いに気付かせ、理解の定着を図るようにしましょう。

- ①1年の文法事項（主として現在形の肯定文・否定文・疑問文）を、教科書や学習カード、掲示物などで提示し、学習内容を繰り返し指導し、定着を図るようにしましょう。
- ②現在形を用いて「普段の生活」について書く活動をした後、過去形を用いて「昨日の生活」について書く活動をするなどして、それぞれの用法の違いに気付かせましょう。
- ③書く活動を行う際には、互いに書いたものを読み合う場面を位置付け、「主語と動詞の関係」や「時制」を観点に見返すよう助言しましょう。

## 中学校 2 年英語【2】解説シート

### ◆問題及び正答

②( visit / every summer / many people / there ).

【2】 下線部②が意味の通る英文になるように、(        ) 内の語を並べかえて書きなさい。  
ただし、文の始めにくる語は、最初の文字を大文字になおして書きなさい。

正答 Many people visit there every summer. または Every summer many people visit there.

### ◆出題の趣旨

「主語＋動詞＋目的語」の語順の定着をみるものである。

ここでは、主語と動詞がどれであるかを判断し、語と語のつながりに注意して正しい語順に並びかえることが求められる。

### ◆P調査との関連

P調査【2】の類題。

### ◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

エ 書くこと (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

1◎	Many people visit there every summer. または、 Every summer many people visit there.	人	%
2	語順は正しいが、単語の綴りを間違えているもの(文頭が小文字のままの解答も含む)		
3	There many people visit every summer.と解答しているもの		
4	Many people there visit every summer. / Every summer many people there visit.と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

過去の類題	正答率	問 題
24 年度 (P 調査)	54.4%	( <u>well / it / can't / very / use / I</u> ).
23 年度 (C 調査)	74.9%	( <u>going / you / to / am / tell / I</u> ) about myself.
23 年度 (P 調査)	76.1%	( <u>very / basketball / plays / he / well</u> ).
22 年度 (C 調査)	57.3%	( <u>Japanese / well / Mike's father / speak / can / very</u> ).
22 年度 (P 調査)	64.7%	( <u>can / well / she / Japanese / very / speak</u> ).
21 年度 (C 調査)	62.5%	( <u>Nagano / going / am / to / next Friday / I / visit</u> ).
21 年度 (P 調査)	69.6%	( <u>can / well / piano / she / the / very / play</u> ).

## 中学校2年英語【2】指導シート

### 補充・補完指導

ここがポイント



[主語+動詞]に着目させましょう。

- 〈分析〉 解答類型3, 4の生徒は何人いましたか。  
→ [主語+動詞+目的語]の語順の理解が十分でないようです。
- 〈確認〉 基本的な肯定文の語順 [主語+動詞] と、[主語+動詞+目的語]の語と語のつながりが理解できていますか。

◇ 「主語」と「動詞」を見つけさせ、語順を意識付けましょう。

主語になりそうな語はどれかな。  
何について言っている部分かな。

many people かな every summer かな？  
観光客が多いので、many people だな。

動詞になりそうな語はどれかな。

観光客が訪れるから visit だな。

まず、[主語+動詞]の順番にして、次に  
[目的語]をつければいいんだな。

訪れる場所は there。これが目的語だ。  
Many people visit there every summer.  
よし、できたぞ。

### 1年 [主語+動詞] の語順の指導

ここがポイント



英語と日本語との違いを意識させましょう。

◇ 英語における [主語+動詞] の語順の指導を折にふれて行い、英語と日本語を比べながら違いを意識できるようにしましょう。

この日本語を英文にしてみよう。  
(板書)「健は毎日英語を勉強します。」

英語は、主語+動詞の順に並べるんだな。

主語と動詞を見つけよう。

「～は」が主語だから「健は」が主語。  
「～する」が動詞だから「勉強する」が動詞。

書いた文の主語に\_\_\_\_、動詞に\_\_\_\_\_をつ  
けて語順を確認しよう。

健は毎日英語を勉強します。  
Ken studies English every day.

### 2年 [主語+動詞] の語順の指導

ここがポイント



語数の多い文に慣れさせましょう。

◇ 学習する英文の語句を3, 4語から5語以上へと増やしていきましょう。

- ① 1年の文法事項(主として現在形、現在進行形、can～)を、日本語との違いから確認できる学習カードなどを整えましょう。
- ② [主語+動詞+目的語]の文から、[主語+動詞+目的語]+[場所・時]の文へと繰り返し練習を行いましょ。
- ③ 口頭で確実に言えるようになるまで十分練習させましょう。
- ④ 1時間の終末に、その時間に学んだ表現を用いて、5語以上の文を書く活動を行いましょ。その際、「主語と動詞の関係」や「時制」を観点に自己評価できるように指導しましょ。

## 中学校 2 年英語【3】解説シート

### ◆問題及び正答

【3】手紙の内容から考えて、( ③ ) 内に当てはまる最も適切な文をア～エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| { | ア it starts in April.     |
|   | イ it starts in September. |
|   | ウ it starts in winter.    |
|   | エ it starts in spring.    |

正答 イ

### ◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、その概要を読み取ることができるか。本文の中から手がかりとなる語句や表現を見つけ、それをもとに、選択肢の中から適切な英文を選択することができるかどうかをみる問題である。

### ◆P調査との関連

新規に加えた問題。 23 年度（C調査）【3】の類題。

### ◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

エ 書くこと (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

1	ア と解答しているもの	人	%
2◎	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における類題の正答率>

過去の類題	正答率
23 年度（C調査）	53.5%

調査結果を記入し、気付いたことをメモしておきましょう。



## 中学校2年英語【3】指導シート

### 補充・補完指導



問われている事柄について述べている英文に着目させましょう。

〈分析〉解答類型1, 3, 4の生徒は何人いましたか。

- 〈確認〉① school year(学年)が始まる月について述べている英文に着目できましたか。  
② この手紙が書かれた月(September)に着目できましたか。

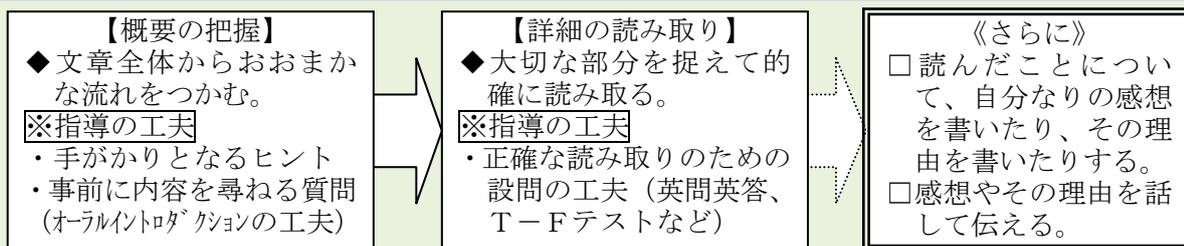
### ここがポイント



概要を理解させましょう。

### まとまった内容が書かれた英文を「読むこと」の指導

◇「読むこと」の指導では、書き手が伝えたいことを正確に読み取ることが大切です。そのために主人公は誰か、話がどのように展開していくのか、おおまかな流れをつかんだうえで、大切な部分を捉えて的確に読み取る力を付けていきましょう。その際、まず、【概要の把握】として、キーワード等をもとに内容を推測し、それらを関連させて概要をつかませます。次に【詳細の読み取り】として、事実や事柄を的確に捉えさせるために、設問を工夫するなどして詳細を理解できるようにします。さらに、「読んだ」感想を「書いて」まとめたり、「書いた」事柄を「話して」伝えたりするなど、他の領域の言語活動と関連付ける指導の工夫も大切です。



### ここがポイント



段階を踏んで進めましょう。

### まとまりのある英文を「書くこと」の指導

◇「書くこと」の指導では、生徒の実態に沿って段階的に進めていくことが大切です。「何を」「誰に向けて」書くのかという目的意識・相手意識をもたせながら取り組ませましょう。

昨日したことについて日記を書こう。

まず、どんなことについて書くのかを日本語で箇条書きにしてみよう。

書こうとしたことが今まで習ってきた表現で表せそうかを考えながら1文1文を英文にしていってみよう。

次に、文と文のつながりやまとまりを考えながら全体を書いていこう。できたらペアで相談し合ってみよう。うまく伝わりそうかな。

友達の見ても参考に、日記の内容を見直して完成させていこう。

家族でハリーポッターを見に行った。  
内容が凄くて、とても感動した。・・・

「ハリーポッターを見るために映画館に行った。」にすると、習った to 不定詞の英文が使いそうだな。「とても感動した。」は、教科書で習った It was fun. の文を参考にすればできそうだな。

時の流れに沿って書くより、映画館での出来事を中心に書いた方が伝わりそうだな。  
①家族で映画を見に行ったこと。②ハリーポッターだったこと。③映画の内容の簡単な説明。④自分の感想。の順で書いてみよう。「みんなもぜひ見に行ってみよう。」という気持ちも入れて書いてみよう。

## 中学校 2 年英語【4】解説シート

### ◆問題及び正答

【4】④の（ ）内の日本語を正しい英語 1 語で書きなさい。

So I'm studying ④(音楽) and English very hard .

正答 music

### ◆出題の趣旨

中学 1、2 年生で指導する語を英語で正しく書く力をみる問題である。ここでは、(音楽) という「教科」の名称を正しく書くことが求められる。

### ◆P 調査との関連

新規に加えた問題。 23 年度 (C 調査)【4】類題。

### ◆学習指導要領との関連

(3) 言語材料 ウ 語、連語及び慣用表現

(ア) 1200 語程度の語

(イ) in front of, a lot of, get up, look for などの連語

(ウ) excuse me, I see, I'm sorry, thank you, you're welcome, for example などの慣用表現

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

1◎	music と解答しているもの	人	%
2	musik、muzic、muzik 等の綴りの誤りがあるもの		
3	Music と単語の始まりを大文字で解答しているもの		
4	他の「教科」の名称を解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

<過去の調査における類題の正答率>

過去の類題	正答率	問 題
23 年度 C 問題	50.4%	She is living in Tokyo now and sometimes comes back to Nagano on ④(土曜日).
22 年度 C 問題	72.5%	So he teaches Japanese to Mike at home every ④(日曜日).
21 年度 C 問題	43.3%	And we'll make a plan for next ④(8月).

## 中学校2年英語【4】指導シート

### 補充・補完指導

#### ここがポイント



綴りの間違いをしている誤答を丁寧に分析しましょう。

〈分析〉「musik」や「muzic」などと綴りの誤りをしている生徒は何人いましたか。

〈確認〉①学校の時間割にある教科名を正しく発音できますか。

②正しく発音できる語を、正しい綴りで書くことができますか。

◇「musik」や「muzic」などの綴りの誤りによる誤答を生かして、日常生活でよく用いられる曜日、月、数字のような基本的な語句を正しく書く場面を仕組みましょう。

7つの曜日が英語で言えるかな。

サンデー、マンデー、チューズデー、ウェズデー、サズデー・・・

しっかりと言えていますね。では、7つの曜日を英語で書いてみよう。

サンデーだから“Sandeï”かな。綴りを確認してみよう“Sunday”だ。発音と綴りは違う！！

“Wednesday”は[d]と2つめの[e]は発音していません。注意して書いてください。

“W-e-d-n-e-s-d-a-y”綴りは「ウェドネズデー」で覚えよう。発音は「ウェズデー」だ。注意して覚えよう。

□授業の始めに全体で確認している曜日、月、数字のような時を表す基本的な語句は、口頭で言えるだけでなく、学習カードやノートに書いて確認する工夫をして、定着を図りましょう。

### 1年「発音と綴りの関係」の指導

#### ここがポイント



日本語との違いに留意させ、発音練習など段階的に継続的に指導しましょう。

◇1学年では、特に発音の基礎をしっかり身に付けることが大切です。ALTの協力を得たり音声教材を活用したりしながら、繰り返し指導することにより定着を図りましょう。

Fridayを発音しよう。フライデー[fráɪdeɪ]  
ローマ字のように言ってみよう。フリデイ

フリデイと言ってしまうそうだけど、英語でフライデーだ、[ɪ]はアイ、[aɪ]はエイと言っているぞ。

日本語と英語の音声の違いに注意して言おう。

Sunday [sʌ'ndeɪ]、Monday [mʌ'ndeɪ]・・・

これから言う英語を、書いてみよう。サタデー。

サタデーは、S-a-t-u-r-d-a-yだ。

### 2、3年「基本的な語、連語及び慣用表現」の指導

#### ここがポイント



生徒の自己表現文や小テスト等は綴りを正しく直して返却しましょう。

◇基本的な語、連語及び慣用表現については、言語活動などで活用することを通して定着を図るようしましょう。その際に、口頭だけで終わらせず必ず書いて定着を図る工夫をしましょう。

①聞いたり話したりする活動だけで終わることなく、授業の終末では「今日学習した表現を使って自分のことを書いてみよう」など書いて定着を図る工夫をしましょう。

②基本的な語、連語及び慣用表現については、次回の writing での定着確認テスト内容を示すなどして家庭学習に目標をもたせ、英語を正しく書くことを意識させましょう。

③生徒が書いた自己表現文や小テスト等を必ず見とどけ、綴りを正しく直して返却しましょう。

## 中学校 2 年英語【5】解説シート

### ◆問題及び正答

本文の内容について、次の質問に英語で答えなさい。答えは ( ) 内に1語ずつ書きなさい。

【5】 Did Mike have a good time in Niagara Falls?

(                    ), (                    ) (                    ).

正答 (     Yes     ), (     he     ) (     did     ).

### ◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、簡単な質問を理解し、Yes か No を使って適切に答えることができるかどうかをみる問題である。ここでは、本文中の I had a wonderful time there. に着目すること、Mike を代名詞の he に変えること、Did が疑問文の文頭にきているため、答えの文末も did になることが求められる。

### ◆P調査との関連

P調査【3】の類題。

### ◆学習指導要領との関連

#### 2 内容

##### (1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。

##### (3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞( can, do, may など)で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why)で始まるもの

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

1◎	Yes he did と解答しているもの	人	%
2	Yes～did と解答しているが、主語が he でないもの		
3	Yes he ～と解答しているが、文末が did でないもの		
4	No ～と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

<過去の調査における正答率>

過去の類題	正答率	過去の類題	正答率
24 年度 (P 調査)	54.4%	22 年度 (P 調査)	51.0%
23 年度 (C 調査)	76.3%	21 年度 (C 調査)	53.2%
23 年度 (P 調査)	49.6%	21 年度 (P 調査)	55.7%
22 年度 (C 調査)	63.4%	20 年度 (県学力)	47.8%

## 中学校 2 年英語【5】指導シート

### 補充・補完指導

ここがポイント



疑問文の主語に着目させましょう。

〈分析〉 Yes と解答しているが、主語が適切でない解答（解答類型 2）の生徒は何人いましたか。  
→主語を適切な代名詞に置き換えることができなかつたことが考えられます。

〈確認〉 主語を見付けることができますか。

主語を代名詞に置き換えること（男の人は he、女の人は she）が理解できていますか。

◇ 「Did Mike have a good time in Niagara falls? — Yes, ( ) did.」の誤答を生かして、主語を適切な代名詞に置き換えて yes-no 疑問文に答える場面を仕組みましょう。

この疑問文の主語はどれかな。

人の名前は主語になる。「Did+主語+動詞」の順番だから、Mike が主語だな。

答えの文の主語はどうすればよいかな。

Mike は男の子の名前だから he にする。

Yes に続けてきちんと答えの文の完成させよう。

he を入れて、Yes, he did. でいいな。

### 2 年「be 動詞、一般動詞の現在形、過去形の疑問文とその応答文」の指導

ここがポイント



主語を正確に見つける習慣を身に付けさせましょう。

◇ be 動詞と一般動詞の yes-no 疑問文とその応答の仕方の基本的な特徴を理解させることに留意し、聞いたり読んだりしたことなどについて問答するような言語活動に繰り返し取り組ませるようにしましょう。その中で、疑問文の主語を見つけて、その応答文では適切な代名詞に置き換える習慣を身に付けさせていきましょう。

答えの文ではどの代名詞を使えばよいかな。

He, she, it, they の代名詞を使って答える。

この疑問文の主語はどれかな。

be 動詞の疑問文では Is, Are, Was などの後に主語がくる。  
一般動詞の疑問文では Do, Does, Did の後に主語がくる。

### 3 年「現在完了形の疑問文とその応答文」の指導

ここがポイント



現在完了形の用法を理解させる際には、現在形と過去形を比べながら指導しましょう。

◇ 現在完了形の yes-no 疑問文とその応答の仕方の基本的な特徴を扱う際には、現在形、過去形の yes-no 疑問文とその応答の仕方を比べながら理解させましょう。

- ① 現在完了形の yes-no 疑問文の場合も、現在形、過去形の場合と同じで、疑問文の文頭に着目することを生徒に気付かせる工夫をしましょう。
- ② 現在形、過去形の場合と同じように、主語を正確に見つけて、答えの文では適切な代名詞に置き換える習慣を身に付けさせましょう。（板書により、主語を枠囲いして注目させるなどの工夫を）
- ③ 教科書本文の Q A 活動などで、現在完了形や現在形、過去形、be 動詞や一般動詞など、様々な yes-no 疑問文に適切に答えられるようにしましょう。

## 中学校 2 年英語【6】解説シート

### ◆問題及び正答

本文の内容について、次の質問に英語で答えなさい。答えは（ ）内に1語ずつ書きなさい。

【6】What does Mike want to be?

He ( ) ( ) ( ) ( ) ( ).

正答 He ( wants ) ( to ) ( be ) ( a ) ( singer ).

### ◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、疑問詞を使った質問を理解し、適切に答えることができるかどうかをみる問題である。ここでは、本文中の I want to be a singer. に着目すること、一般動詞の want を主語に対応させて wants にすることが求められる。

### ◆P調査との関連

P調査【4】の類題

### ◆学習指導要領との関連

#### 2 内容

##### (1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。

##### (3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞(can、do、may など)で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how、what、when、where、which、who、whose、why) で始まるもの

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

1◎	He wants to be a singer . と解答しているもの	人	%
2	動詞が wants になっていないもの (例) want、wanted、went など		
3	singer の綴りが間違っているもの (例) singlar, sing など		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

<過去の調査における正答率>

過去の類題	正答率	過去の類題	正答率
24年度 (P調査)	5.4%	22年度 (P調査)	29.6%
23年度 (C調査)	35.6%	21年度 (C調査)	20.7%
23年度 (P調査)	22.9%	21年度 (P調査)	25.8%
22年度 (C調査)	48.9%	20年度 (県学力)	17.6%

## 中学校2年英語【6】指導シート

### 補充・補完指導

ここがポイント



3人称・単数 現在形や疑問詞で始まる疑問文の理解は確かですか。

〈分析〉「He want to be a singer.」(解答類型2)と解答している生徒は何人いましたか。  
→不規則動詞の3人称・単数で、現在形の語形の変化の理解が十分でないことが考えられます。  
〈確認〉主語が3人称・単数で現在形の平叙文の場合、動詞に-(e)sを付けること、不規則動詞の語形の変化を理解していますか。疑問詞「what」の意味を理解していますか。

◇「What does Mike want to be? - He want to be a singer.」の誤答を生かして、読み取った内容を英文で答える際に、文法面で正しく書いて答える場面を仕組みましょう。

疑問文の主語はどれかな。

Mike は人の名前だから、これが主語だな。

答えの文の主語は何になるかな。

Mike は男性だから、置き換えると He になる。

疑問文では What does ~? だけれど、  
答えの文は want でいいかな。

主語が He だから、動詞に-(e)sをつける。  
He wants to be a singer.だ。

### 2年「wh-疑問文とその応答文」の指導

ここがポイント



主語と時制を確認して動詞を適切な形にする習慣を身に付けさせましょう。

◇wh-疑問文とその応答の仕方の基本的な特徴を理解させるとともに、QA活動の際は口頭だけではなく、主語や動詞を確認しながら書くことも行い、文法面でも正しく答える習慣を身に付けてきましょう。

この疑問文の主語はどれかな。

疑問文の主語を見つけ、答えの主語(代名詞)を確認。

答えの文では動詞はこ  
のままでよいか。

疑問文の時制を確認して

過去形なら答えの文も過去形にして

現在形なら、主語が He、She、It、等の時は動詞に-(e)sが付く。

### 2、3年「教科書教材の英文内容について問うwh-疑問文とその応答文」の指導

ここがポイント



wh-疑問文とその応答の仕方を4領域の活動の中で、繰り返し慣れさせましょう。

◇3年生の教科書教材のまとまりのある英文についてのQA活動では、口頭での確認だけで終わらせてしまいがちですが、計画的にポイントを絞って書くことで、文法面の指導をする場面を繰り返し位置付けましょう。

- ①疑問詞を使った質問(疑問文)の意味が理解できているか確認しましょう。
- ②文中のどの英文についての質問か自覚できるように、根拠となる英文にアンダーラインを引く習慣を身に付けさせましょう。
- ③教科書本文のQA活動などで、5W1Hなどの様々な疑問文に対して書いて答えることができるようにしましょう。一度に多数の疑問文に答えることにならないように、計画的にポイントを絞って指導しましょう。

## 中学校 2 年英語【7】解説シート

### ◆問題及び正答例

【7】あなたが「将来なりたい職業」や「将来やってみたいこと」を英語で1文書き、さらにそのことについてあなたの考え、気持ち、事実、理由などを英語で1文書き加えなさい。ただし、未習の職業名についてはローマ字表記でもよいとする。

正答例

例1) I want to be a baseball player. I like baseball very much.

例2) I want to go to Italy. Because I want to watch a soccer game there.

例3) I like playing golf. So I want to be a golf player.

例4) I want to live in America. I study English every day.

### ◆出題の趣旨

身近な場面、特に自分自身について英語で2文書くことができるかどうかをみるものである。ここでは、書く内容を構想する力、正しく文を書く力が求められる。

### ◆P調査との関連

P調査 【5】の類題

### ◆学習指導要領との関連

2 内容 (1) 言語活動 エ 書くこと

(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

(エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

#### 正答の条件

- ①将来なりたい職業」や「将来やってみたいこと」について1文、考え、気持ち、事実、理由などを表した1文があり、2文とも語順が正しい。(文の順番は前後してもよい。)
  - ②2文とも、動詞の活用についての綴りミスをしていない。
  - ③動詞の活用以外の単語に綴りミスをしていない。
- \*未習の職業名についてはローマ字表記でもよい。

<解答類型>・・・①、②、③については上の正答の条件を参照してください。

1◎	①、②、③をすべて満たすもの	人	%
2○	①、②を満たすもの		
3	文法的な間違いがあるが、内容的に理解できる2文が書かれているもの		
4	内容的にも文法的にも正しいが、1文だけ書かれているもの		
5	つづり及び大文字・小文字の間違いがあるが、内容的に理解できる1文が書かれているもの		
6	文法的な間違いがあるが、内容的に理解できる1文が書かれているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答 (準正答)

<過去の調査における正答率>

過去の類題	正答率	過去の類題	正答率	過去の類題	正答率
24年度(P調査)	23.5%	22年度(C調査)	32.5%	21年度(P調査)	27.6%
23年度(C調査)	30.1%	22年度(P調査)	69.8%		
23年度(P調査)	45.5%	21年度(C調査)	29.6%		

## 中学校2年英語【7】指導シート

### 補充・補完指導



誰を主語にするか、何についてどのように書くか考えさせましょう。

- 〈分析〉無解答や1文しか書くことができなかつた生徒は何人いましたか。  
→誰を主語にするか、何について、どう書いたらいいのかわからないことが考えられます。
- 〈確認〉「誰について」「何について」書くのか考えられましたか。  
[主語+動詞 ~ ] の語順で正しく書くことができますか。

◇主語と動詞を明らかにして書くことを意識付ける場面を仕組みましょう。

誰のことを、何について書くのかな。

自分のこと、Iだ。テニス選手になりたい。

動詞は何？主語+動詞の語順で並べよう。

「～になりたい」は want to be～、だから  
I want to be a tennis player.だ。

1文書いたことに考えや気持ち、事実、理由などを付け加えて英文を表現してみよう。

理由は、テニスが大好きだから。  
I like tennis very much.と書けるな。

### 1年「まとまりのある文章を書くこと」の指導



段階を踏んだ指導をしましょう。

◇条件英作文から自由英作文へと段階を踏んだ指導をしましょう。

(条件英作文例) 友だちの紹介文(2文程度)・・・書く内容、表現を提示することから始めましょう。

一人の友だちについて、「名前」「放課後すること」を、○○is my friend. He plays ~. を使って書きましょう。

Ken is my friend.  
放課後はバスケットボールをしているから、  
He plays basketball after school.

(自由英作文例) 別の友だちの紹介文(2文程度)・・・話題を提示し、書く内容を考えさせましょう。

まずは、誰を書くのか決めましょう。

太郎さんにしよう。Taro is my friend.

次に、書く内容を決めましょう。

サッカー部だから、「放課後サッカーをする」にしよう。

それぞれ英文にしてみましょう。

Taro is my friend.  
He plays soccer after school.

### 1・2年「まとまりのある文章を正しく書くこと」の指導

ここがポイント



「正しく書くこと」を意識して書く時間を位置付けましょう。

◇英文を「正しく書く」ための指導を工夫し、繰り返し指導しましょう。

- ① 身近な事柄、自分の考えや気持ちなど自己表現に結び付く文法事項や単元の学習を教科書でしたあと、生徒が書きたくなるような場面を設定し、書く時間を位置付けましょう。
- ② 書き方についての手だてを工夫しましょう。(教科書の表現や書き方のモデル提示・確認)
- ③ 文の完成後は、観点を明確にして生徒同士で読み合ったり、教師が添削をしたりして、生徒が英文の正しさに目を向けるような時間を位置付けましょう。
- ④ 英文を正しく書く力の定着を図りましょう。
  - ・完成した英文を読む練習や発表する活動を授業に位置付け、語順や発音を意識させます。
  - ・授業や家庭学習で繰り返し書く練習を位置付け、文法や語順、単語の綴りを確認させます。